

ふくさき町の教育

福崎町教育委員会 事務事業点検・評価報告書 (令和3年度事業分)

令和4年 12 月

福崎町教育委員会

<目 次>

I	はじめに	1
II	実施方針	2
III	事務事業点検・評価表	3

学校教育課

(1)	就学前の子育て支援事業	4～20
(2)	教育委員会事業	21～25
(3)	学校関係事業	25～37
(4)	給食センター事業	71～75

社会教育課

(5)	社会教育事業	38～43、54～57
(6)	芸術・文化事業	43～47、49～53
(7)	図書館事業	47～49
(8)	文化財事業	58～67
(9)	社会体育事業	53～54、67～71、75～81
IV	学識経験者の意見	82
V	参考資料	90
	■令和3年度福崎町教育の努力目標	91
	■福崎町教育委員会事務事業評価委員要綱	96

I はじめに

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正（平成20年4月1日施行）され、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならない。」とされました。

福崎町教育委員会では、法律の趣旨に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくために、令和3年度における教育委員会事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

町民の皆様はこの報告書をご覧いただき、教育委員会の取り組みに対するご意見をお寄せいただくことで、よりよい福崎町教育の実現を目指していきたいと考えています。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

Ⅱ 実 施 方 針

教育委員会の事務の管理・執行の状況の点検及び評価を実施するに当たり、次のとおり実施方針を定めます。

1 趣 旨

福崎町教育委員会は、毎年、教育委員会の事務の管理・執行の状況（教育長及び事務局の事務執行を含む。）について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出し、公表することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていきます。

2 実施方法

ア 点検及び評価は、学校教育課及び社会教育課が所管している事業を対象とします。

イ 点検及び評価は、毎年度1回実施するものとし、前年度の事務・事業の進捗状況をチェックするとともに、それぞれの課題や今後の取組の方向性を示すものとしします。

ウ 教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、「外部委員」を置き、その意見を聴取します。外部委員は、教育に関し学識経験を有する方など外部の方々の中から、教育委員会が委嘱し、任期は1年とします。なお、初年度はその年度末とします。また、再任は妨げないものとします。

エ 教育委員会は、事務・事業の進捗状況等を取りまとめ、有識者の意見を聴取した後、点検及び評価を行います。

オ 教育委員会において点検及び評価を行った後、その結果をとりまとめた報告書を町議会へ提出し、報告書は町民に公表するものとします。

カ 教育委員会は、点検及び評価の結果を踏まえて、次年度以降の事務・事業に取り組むものとします。

3 実施時期

前年度分の事務・事業を取りまとめた評価シートをもとに当該年度に実施します。

Ⅲ 事務事業点検・評価表

3. 民 生 費

住民生活に密着したサービスを提供するために要した経費で、保健、医療、福祉と連携し、高齢者や障がい者等「住民誰もが心豊かに安心して暮らせるまちづくり」に努めました。今後も少子高齢化や共生社会に対応するため実情に応じた福祉サービスを行い、住民誰もがより良い日常生活を継続できるよう支援していきます。

また、認定こども園では、子どもの健やかな育ちと豊かな人間形成が可能となるよう、就学前教育・保育の充実を図りました。

防犯面では、福崎町防犯指導委員会によるパトロールやキャンペーンを実施し、住民の防犯意識の高揚を図り、安全安心に暮らせるまちづくりの推進に努めました。

1 次評価：A

(2) 児童福祉費

項	目	予算現額	支出済額	不用額
2. 児 童 福 祉 費	1. 児 童 福 祉 総 務 費	391,267,000 ^円	380,359,626 ^円	10,907,374 ^円

児童の健全な育成のため、障がいのある児童に対して年金や就学援助金を支給したほか、母子・父子家庭にも就学援助金を支給しました。また、赤ちゃん誕生祝記念品として「あかちゃん日記」等の贈呈をしました。

子ども・子育て支援事業では、「福崎町第2期子ども・子育て支援事業計画」の進捗状況を確認するため、福崎町子ども・子育て会議を開催しました。

総合計画**後期基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施 策	町の取り組み
総	Ⅱ 教育・文化	3 子育て支援	①子どもの健やかな成長支援
	◆ 取 組 内 容	保護者ニーズに合った子育て支援施策の検討 子育て世代と多世代間交流事業の推進	子育て相談業務の充実 包括的・継続的な相談支援体制の構築
	Ⅱ 教育・文化	3 子育て支援	②子育て家庭への支援
総	◆ 取 組 内 容	地域全体で支える子育ての推進	経済的支援(就学援助費支給、保育料軽減など)を継続

事業名／子ども子育て支援事業(学校教育課)

総合計画**後期基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施 策	町の取り組み
総	Ⅱ 教育・文化	3 子育て支援	①子どもの健やかな成長支援
	◆ 取 組 内 容	第2期子ども・子育て支援事業計画の策定	
総	Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	②青少年の健全育成の推進
	◆ 取 組 内 容	家庭の教育力向上、子育て支援や家庭教育の啓発	

◆事業内容(目的・必要性)

令和2年度から令和6年度までの5年間を計画期間とする「福崎町第2期子ども・子育て支援事業計画」の進捗状況を確認するため、福崎町子ども・子育て会議を開催しました。また、幼児教育・保育に係る公定価格の改定に対応するため、子ども・子育て支援システムの改修を行いました。

病気やけがで集団生活ができない児童と保護者への支援を行うため、神崎郡3町で病児保育事業を実施しました。

◆事業の成果

■福崎町子ども・子育て会議

○委員構成 15名

- ・子どもの保護者 5名
- ・子ども・子育て支援に関する事業に従事する者 5名
- ・子ども・子育て支援に関し学識経験のある者 5名

○会議開催 1回（令和4年2月24日）

■子ども・子育て支援システム改修等

○業務の内容

子ども・子育て支援新制度システム公定価格マスターデータ設定委託料 165,000円

基幹系業務システムクラウド利用料 3,798,960円

○業務委託業者 (株) さくらケーシーエス

■病児保育事業

○実施場所

神崎郡病児病後児保育施設（ケアステーションかんざき2階）

○負担金

病児保育事業負担金 407,000円

□効果・達成度

福崎町子ども・子育て会議において、「福崎町第2期子ども・子育て支援事業計画」の進捗状況の確認を行うとともに、子育て支援に関する意見交換をすることができました。また、子ども・子育て支援システムの改修を行うことで、幼児教育・保育に係る適正な予算執行を行いました。神崎郡3町で病児保育事業を実施し、病児等の保育を行うことで子育て家庭の支援につなげることができました。

□課題・改善

計画の進捗について子ども・子育て会議の場において、点検・見直しを行い、計画に沿った事業を展開していく必要があります。病児保育事業については、保護者への周知に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9,104,000	8,769,787	2,850,000			5,919,787

1次評価：B

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
2. 児 童 福 祉 費	3. 保 育 所 費	4,300,000 ^円	3,910,910 ^円	389,090 ^円

福崎町に住所を有し、保護者の就労等の事情により町外の保育所を利用した児童の費用について、該当する私立保育所の設置者に対して支出した費用です。

事業名／町外私立保育所委託事業

◆事業内容(目的・必要性)

施設の利用を委託した町外私立保育所へ委託料を支払いました。

◆事業の成果

■町外私立保育所

(単位：円)

施設名	委託料
香島保育園	1,786,150
神崎保育園	2,124,760
計	3,910,910

□効果・達成度

町外私立保育所へ委託料の支払を行い、各施設の適正な運営と保育の充実に寄与しました。

□課題・改善

今後も町外保育所への適正な予算執行に努めていきます。

■保育所等年間延べ利用児童数

(単位：人)

施設名		定員	利用延べ児童数	利用状況			
				0歳児	1・2歳児	3歳児	4歳以上児
たつの市	香島保育園	50	12	0	12	0	0
神河町	神崎保育園	90	24	0	12	0	12
合計			36	0	24	0	12

予算額	決算額	財源内訳 (単位:円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
4,300,000	3,910,910	3,105,910		570,960	234,040

1次評価：A

項	目	予算現額	支出済額	不用額
2.児童福祉費	4.認定こども園費	669,461,000 ^円	649,111,266 ^円	20,349,734 ^円

町内及び町外の認定こども園を利用し、就学前教育・保育を希望する児童のために要した費用です。

主な支出は、職員20名及び会計年度任用職員に係る人件費、私立認定こども園及び町外公立認定こども園への施設型給付費、事務費等です。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、手洗いや手指消毒、検温等の感染症対策を徹底し、認定こども園における教育・保育を継続して提供しました。

総合計画**後期基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施策	町の取り組み
総	Ⅱ 教育・文化	1 保育・就学前教育	①就学前教育・保育の充実
	◆ 取組内容	安心して子育てができる保育サービスの提供 必要な保育教諭数の確保	食育の推進、基本的な生活習慣の確立 就学前教育から学校教育への円滑な接続
	Ⅱ 教育・文化	1 保育・就学前教育	②環境の整備
総	◆ 取組内容	旧園舎部分の長寿命化整備	年齢構成に対応した園舎の改修
総	Ⅱ 教育・文化	3 子育て支援	①子どもの健やかな成長支援
	◆ 取組内容	保護者ニーズに合った子育て支援施策の検討 地域ぐるみでの子育てサポートの推進	子育て世代と多世代間交流事業の推進 経済的支援(就学援助費支給、保育料軽減など)を継続
	Ⅱ 教育・文化	3 子育て支援	②子育て家庭への支援
総	◆ 取組内容	地域全体で支える子育ての推進	
総	Ⅳ 健康・医療・福祉	4 障がい福祉	②教育・育成の充実
	◆ 取組内容	サポートファイルの活用、適切な支援継続	

事業名／認定こども園管理費

◆事業内容(目的・必要性)

入園児童が心身ともに健やかに成長できるよう、快適で安全な認定こども園の運営、管理を行いました。
教育・保育の質の向上をめざし、関係機関主催の研修会へのオンラインによる参加や職員の計画による園内研修を実施しました。

また、児童の安全対策と快適な保育環境づくりのため、施設・設備等の修繕、清掃及び害虫駆除等を行いました。

◆事業の成果

■園医等報酬

・内科医 817,680円 ・歯科医 627,290円 ・薬剤師 168,000円

■修繕関係

園 名	金 額 (円)
田 原 幼 児 園	478,940
八 千 種 幼 児 園	399,806
福 崎 幼 児 園	1,261,260
高 岡 幼 児 園	28,930
合 計	2,168,936

■委託料関係

区 分	金 額 (円)
清 掃 委 託 料	374,000
植 木 剪 定 等 委 託 料	44,643
電 気 設 備 管 理 委 託 料	753,720
警 備 委 託 料	569,184
消 防 設 備 点 検 委 託 料	71,280
電 算 機 器 保 守 委 託 料	26,400
施 設 管 理 委 託 料	385,440
合 計	2,224,667

□効果・達成度

保育教諭の適正な配置や施設管理を行い、児童が安全で快適な園生活を送ることができました。

園内研修では、職員間で活発な意見交換を行い、教育・保育の質の向上につながりました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H29	H30	R1	R2	R3	目標(R5)
入所・入園児童数	699	709	675	645	662	730

□課題・改善

低年齢児からの入園が年々増加していることから、保育教諭の確保に努めています。今後も児童の安全を確保しながら健全な認定こども園運営に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
108,666,000	104,627,059	7,727,035		7,890,805	89,009,219

事業名／認定こども園事業費

◆事業内容(目的・必要性)

認定こども園ごとの教育・保育目標により、入園児童の健康と安全を確保しつつ創意工夫を加えながら、

年齢に応じた教育・保育を実施しました。

保護者の多様なニーズに対応するため、午後7時までの延長保育事業や、保護者の都合により緊急的・一時的に家庭で保育できない1号認定子どもの一時預かり（幼稚園型）事業及び在宅児童の一時預かり（一般型）事業を実施しました。また、教育・保育を継続して提供するため、新型コロナウイルス感染症対策の徹底に努めました。

子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、兵庫県が実施する「ひょうご保育料軽減事業」に基づき、一定の基準に該当する世帯の保育料を助成しました。

◆事業の成果

■延長保育事業利用状況（年間延べ利用者数）（単位：人）

田 原	八千種	福 崎	高 岡	姫 学	サルビア	合 計
226	15	153	12	524	398	1,328

■一時預かり事業（一般型）利用状況（年間延べ利用者数）（単位：人）

田 原	姫 学	サルビア	合 計
15	89	43	147

■一時預かり事業（幼稚園型）利用状況（年間延べ利用者数）（単位：人）

田 原	八千種	福 崎	高 岡	姫 学	サルビア	合 計
26	23	24	0	2	15	90

■保育材料代

園 名	金 額（円）
田 原 幼 児 園	1,792,474
八 千 種 幼 児 園	498,659
福 崎 幼 児 園	1,296,027
高 岡 幼 児 園	146,157
合 計	3,733,317

■給食材料代

園 名	金 額（円）
田 原 幼 児 園	3,155,761
八 千 種 幼 児 園	1,122,009
福 崎 幼 児 園	1,999,992
高 岡 幼 児 園	257,084
合 計	6,534,846

■保育用備品購入費

園 名	金 額（円）
田 原 幼 児 園	104,940
八 千 種 幼 児 園	219,230
福 崎 幼 児 園	188,210
高 岡 幼 児 園	188,980
合 計	701,360

■衛生資材等購入費

園 名	金 額 (円)
田 原 幼 児 園	234,616
八 千 種 幼 児 園	62,465
福 崎 幼 児 園	450,376
高 岡 幼 児 園	26,481
合 計	773,938

■ひょうご保育料軽減事業

対象児童数 31人

保育料軽減事業補助金 3,073,300円

□効果・達成度

延長保育事業や一時預かり事業（一般型・幼稚園型）を実施することにより保護者のニーズに対応し、子育て支援につなげることができました。

利用者負担額の一部を助成することで、より多くの世帯の経済的負担の軽減を図ることができ、子どもを産み育てやすい環境づくりに寄与しました。

□めざそう値

第5次総合計画調査事項	H29	H30	R1	R2	R3
延長保育事業（延べ人数）	2,062	2,504	1,832	1,008	1,328
一時預かり事業【一般型】（延べ人数）	222	216	77	170	147
一時預かり事業【幼稚園型】（延べ人数）	1,699	1,255	895	338	90

□課題・改善

引き続き、延長保育事業や一時預かり事業等の子育て支援事業の周知に努め、保護者にとって利用しやすい環境づくりに努めます。

■認定こども園年間延べ利用児童数 (単位：人)

施 設 名		定員	利用延べ児童数	利用状況			
				0歳児	1・2歳児	3歳児	4歳以上児
田 原 幼 児 園		240	2,590 (13)	58 (0)	566 (4)	714 (1)	1,252 (8)
八 千 種 幼 児 園		87	759 (12)	22 (0)	216 (0)	180 (0)	341 (12)
福 崎 幼 児 園		183	1,620 (43)	41 (0)	303 (12)	395 (19)	881 (12)
高 岡 幼 児 園		45	251 (0)	11 (0)	24 (0)	48 (0)	168 (0)
姫 学 こ ど も 園		75	868 (113)	94 (3)	246 (24)	123 (60)	405 (26)
サルビアこども園		105	1,336 (144)	33 (17)	411 (37)	329 (31)	563 (59)
小 計		735	7,424 (325)	259 (20)	1,766 (77)	1,789 (111)	3,610 (117)
姫 路 市	萩 学 園	305	104	17	19	12	56
	姫路日ノ本短期大学附属幼稚園	193	72	0	24	12	36
	三 恵 城 山 こ ど も 園	115	12	12	0	0	0
	野 里 こ ど も 園	105	12	6	0	6	0
	山 田 こ ど も 園	70	12	0	0	0	12
	中 寺 こ ど も 園	150	12	0	12	0	0
	前 之 庄 こ ど も 園	100	10	0	10	0	0
加 西 市	認定こども園とみた	140	34	10	12	0	12
	北条ならの実こども園	170	18	0	6	0	12
市 川 町	屋 形 こ ど も 園	80	21	0	12	0	9
	いちかわ西こども園	90	51	3	24	0	24
	いちかわ東こども園	170	42	0	9	0	33
多 可 町	あ さ か こ ど も 園	105	14	0	0	12	2
小 計			414	48	128	42	196
合 計			7,838 (325)	307 (20)	1,894 (77)	1,831 (111)	3,806 (117)

※ () 内は他市町からの受託児で外数

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
22,338,000	21,226,657	2,362,900		7,252,531	11,611,226

事業名／認定こども園事業費、私立認定こども園運営事業【令和2年度から繰越】

◆事業内容(目的・必要性)

認定こども園において教育・保育を継続的に提供するため、新型コロナウイルス感染症対策に必要な衛生資材等を購入しました。また、私立認定こども園については、感染症対策に必要な経費に対し補助金を

交付しました。

◆事業の成果

■衛生資材等購入費

園 名	金 額 (円)
田 原 幼 児 園	500,000
八 千 種 幼 児 園	500,000
福 崎 幼 児 園	500,000
高 岡 幼 児 園	400,000
合 計	1,900,000

■町内私立認定こども園補助金

園 名	金 額 (円)
姫 学 こ ど も 園	500,000
サルビアこども園	500,000
合 計	1,000,000

□効果・達成度

衛生資材等を備えることにより、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、認定こども園における教育・保育を継続的に提供することができました。

□課題・改善

新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら、引き続き、感染症対策の徹底に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,900,000	2,900,000	2,900,000			

事業名／園児送迎バス運行事業

◆事業内容(目的・必要性)

送迎を希望する園児の保護者の負担軽減を図るため、マイクロバスの運行を行いました。

◆事業の成果

主な支出は、マイクロバス運転手及び添乗員に係る報酬、マイクロバスの維持管理に要した費用です。

■マイクロバス利用者数 (単位:人)

田 原 幼 児 園	5
八 千 種 幼 児 園	1
福 崎 幼 児 園	2
高 岡 幼 児 園	1
姫 学 こ ど も 園	1
合 計	10

□効果・達成度

ニーズのある家庭に対し、よりきめ細やかに対応し、児童の安全な送迎の確保と保護者の負担軽減を図ることができました。

□課題・改善

朝夕各1便ずつで運行しており、1台で町内6園すべての保護者の希望に応えていくことが難しいのが現状です。

今後も児童の安全な送迎の確保と保護者の負担軽減を図ります。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4,245,000	3,876,004			187,600	3,688,404

事業名／私立認定こども園運営事業、町外公立認定こども園委託事業

◆事業内容(目的・必要性)

私立認定こども園及び町外公立認定こども園へ施設型給付費を支払いました。

また、町内私立認定こども園の特別保育等に係る補助金交付を行い、教育・保育の充実を図りました。

◆事業の成果

■町内私立認定こども園給付費 (単位：円)

	給 付 費
姫 学 こ ど も 園	91,679,900
サルビアこども園	114,980,400
合 計	206,660,300

■町内私立認定こども園補助金 (単位：円)

	姫 学 こ ど も 園	サルビアこども園
調 理 員 補 助	4,112,591	0
パ ン 代 補 助	39,165	52,337
特別保育等補助金	3,722,180	4,874,710
特 別 保 育 料	262,000	168,500
障 害 児 保 育 補 助	883,200	883,200
保育体制強化事業補助金	0	1,095,445
感染症対策事業補助金	550,000	550,000
保育所等業務効率化推進事業補助金	0	750,000
保育士等処遇改善事業補助金	472,920	561,060
合 計	10,042,056	8,935,252

■町外私立認定こども園給付費 (単位：円)

	給 付 費
萩 学 園	6,763,940
姫路日ノ本短期大学付属幼稚園	4,247,710
三恵城山こども園	1,933,170
野 里 こ ど も 園	1,652,100
認定こども園とみた	3,483,040
屋 形 こ ど も 園	1,682,510
あさかこども園	1,336,870
合 計	21,099,340

■町外公立認定こども園給付費 (単位：円)

	給 付 費
前之庄こども園	881,610
山 田 こ ど も 園	928,770
中 寺 こ ど も 園	1,311,030
北条ならの実こども園	716,880
いちかわ西こども園	3,301,570
いちかわ東こども園	1,675,560
合 計	8,815,420

□効果・達成度

私立認定こども園及び町外公立認定こども園に対して施設型給付費の支払を行い、各施設の適正な運営と教育・保育の充実に寄与しました。

□課題・改善

今後も私立認定こども園等への適正な予算執行に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
269,380,000	255,552,368	191,083,197		930,500	63,538,671

1次評価：B

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
2. 児 童 福 祉 費	5. 子育て支援施設費	20,557,000 円	19,678,636 円	878,364 円

核家族化や少子化の進行、地域のつながりの希薄化等により、家族や地域の中で子育てに関する知恵や経験を共有することが難しく、子育てに関して周囲の助けを求めにくくなっています。

このような状況の中、子育て支援センターと子育て学習センターでは、子育て中の親子が気軽に集い、交流できる場を提供し、子育てに関する相談や情報提供を行うことにより、子育ての孤立化や負担感の軽減を図り、子どもや子育て家庭が安心して健やかに暮らせるよう支援しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部の行事を中止しましたが、人数制限や消毒・換気等の感染症対策を徹底しながら、事業を行いました。

総合計画**後期基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施 策	町の取り組み
総 計	Ⅱ 教育・文化	3 子育て支援	①子どもの健やかな成長支援
	◆ 取 組 内 容	保護者ニーズに合った子育て支援施策の検討 子育て世代と多世代間交流事業の推進	子育て相談業務の充実
	Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	②青少年の健全育成の推進
総	◆ 取 組 内 容	家庭の教育力向上、子育て支援や家庭教育の啓発	

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H29	H30	R1	R2	R3	目標(R5)
子育て支援事業参加者数	20,268	18,975	16,673	8,918	8,889	21,000

事業名／子育て支援センター運営事業（福崎幼稚園内）

◆事業内容(目的・必要性)

福崎町の子育て支援の拠点として、子育て支援情報の収集を行い、町広報誌、ホームページ等による情報提供を実施しました。保健センターとの連絡を密に行い、産前から施設を利用してもらうよう呼びかけを行いました。また“おひさまらんど”は、子育て中の親子が集える場として開放し、子育ての孤立化や負担感の軽減を図りました。

◆事業の成果

■子育て支援センター事業年間延べ利用者数

おひさまらんど 利 用 者 数	すきっぷひろば 参 加 者 数	そ の 他 の 事 業 参 加 者 数	合 計
2,514人	269人	154人	2,937人

■子育て相談件数 470件

■地域支援活動（すきっぷひろば）

新型コロナウイルス感染症対策のため、人数制限をしながら実施しました。

実施月	実 施 場 所
7月～8月	子育て支援センター（6回）
10月～12月	図書館（3回）、文化センター（3回）、八千種研修センター（3回）

■その他の事業

実施月	事 業 内 容
4月	片付けの話（2回）
6月	個別相談日
7月	個別相談日
9月	個別相談日
10月	絵本の話（2回）
12月	個別相談日、離乳食の話
1月	和風おもちゃであそぼう（2回）
2月	親子あそび（2回）
3月	個別相談日

□効果・達成度

保健センターとの連絡を密にし、4か月健診時に事業の周知を行うことで新たな来所者が増え、子育て中の親子の交流が広がりました。

専門の相談員による個別相談日を年5回設定し、子育て中の親子の気持ちに寄り添い、悩みを共有することができました。

□課題・改善

今後も、子育て支援施設の拠点として関係機関と連携をとりながら、子育て中の親子が気軽に集い、交流できる環境づくりに努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 （単位:円）			
		国県支出金	地 方 債	その他	一般財源
4,798,000	4,628,248	2,839,586			1,788,662

事業名／西部子育て学習センター運営事業（文化センター内）

◆事業内容(目的・必要性)

西部子育て学習センター“ともだちひろば”を子育て中の親子の集いの場として提供しました。

「子育て学習講座」では、乳幼児期の子育てについての講演会等を開催しました。また、子育てグループ活動では、育ちあうなかまづくりの育成支援を行いました。その他、“あそびのひろば”として絵本の読み聞かせやリズム遊びなど、様々な交流の場を提供しました。

◆事業の成果

■西部子育て学習センター事業年間延べ利用者数

ともだちひろば 利 用 者 数	子育てグループ 活動参加者数	子育て学習講座 参 加 者 数	そ の 他 の 事 業 参 加 者 数	合 計
2,774人	531人	213人	121人	3,639人

■子育て相談件数 32件

■子育てグループ

- ・ 4 グループ42組95人の親子が参加
- ・ グループごとに年間10回活動を実施

■子育て学習講座

実施月	テーマ
6月	歌がつなぐ人のきずな
7月	すぐ出来る！子育て中に人気の時短レシピ
8月	人形劇
10月	わくわく親子うんどうあそび
11月	今だからこそ 子どもの育ちに大切なこと
3月	スプリングコンサート

■あそびのひろば

事業名	内 容	実 施 日
ドレミ	リズムあそび・うたあそび	木曜日 年5回
ぐりとぐら	絵本の読み聞かせ、わらべうた	木曜日 年5回

□効果・達成度

42組の子育て中の親子が年間10回の活動に参加され、出会いの場、悩みを共有する場として子育てを応援できました。

□課題・改善

今後も、子育て中の親子が集い、育ちあうなかまづくりの育成支援を行うとともに、学びの場・安らぎの場・子育て中の親子の心のよりどころとして、身近な施設となるよう努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,806,000	3,599,831	2,234,890			1,364,941

事業名／東部子育て学習センター運営事業（田原幼稚園内）

◆事業内容(目的・必要性)

東部子育て学習センター“にこにこひろば”を子育て中の親子の集いの場として提供し、子育て講演会の開催や親子遊び、製作遊びなどの事業を定期的の実施しました。母子参加の事業だけでなく、多世代交流、家族参加の事業など、父親や祖父母が参加する機会を設けました。

◆事業の成果

■東部子育て学習センター事業年間延べ利用者数

にこにこひろば 利 用 者 数	製作あそび 参 加 者 数	そ の 他 の 事 業 参 加 者 数	合 計
1,686人	168人	459人	2,313人

■子育て相談件数 86件

■製作あそび

事業名	内 容	実 施 日
作って遊ぼう	親子での製作活動	第3木曜日 年6回

■その他の事業

実施月	テ ー マ
4月	みんなでおさんぽ（辻川山）
7月	わらべうたで遊ぼう、手作り教室（手形アートバッグ作り）
8月	家族で楽しむ川遊び
10月	いもほり
11月	家族で楽しむ人形劇、秋を飾ろう（木の実の製作）
12月	ちょきちょきぺったん！（クリスマスの製作）
1月	親子体育あそび
2月	子育て講演会「これでいい？私の言葉がけ」
3月	成長の記録ノート作り

□効果・達成度

感染症対策を徹底しながら事業を実施し、参加者に子育ての知識や情報の提供ができました。また子育て中の親子の交流を促すことができました。家族参加の事業では、母親だけでなく、父親や祖父母の参加もありました。

□課題・改善

今後も、学びの場・安らぎの場・子育て中の親子の心のよりどころとして、身近な施設となるよう努めます。また、家族とのふれあいを大切し、父親の子育て参加を促していきます。そして「子どもの育ち」を支援していきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳（単位：円）			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,533,000	2,306,276	1,398,338			907,938

1次評価：B

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
2. 児 童 福 祉 費	6. 学 童 保 育 費	24,734,000 円	23,429,845 円	1,304,155 円

共働き家庭など、学校から帰宅しても誰もいない留守家庭の小学生の保護・健全育成を図ることを目的に、学校や地域の協力のもと、福崎小学校の余裕教室を利用した「福崎西部学童保育園」と田原小学校体育館の北側にある「福崎東部学童保育園」において学童保育を行いました。年齢の異なった子どもたちが家庭的な雰囲気の中で、宿題をした後、自主活動を通じて仲良く協力しながら放課後を過ごしました。

土曜日は「福崎東部学童保育園」において、センター方式により学童保育を実施しました。

放課後子ども教室では、地域の大人との交流を通じ、子どもの居場所づくりに努めました。

総合計画**後期基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化		3 子育て支援	①子どもの健やかな成長支援
総 創	◆ 取 組 内 容	学童保育や放課後子ども教室の更なる充実	保護者ニーズに合った子育て支援施策の検討

□めざそう値

第2期総合戦略アクションプラン KPI	H29	H30	R1	R2	R3	目標(R6)
学童保育利用者数	286	327	292	222	275	350

事業名／福崎西部学童保育園運営事業

◆事業内容(目的・必要性)

福崎小学校及び高岡小学校の留守家庭の児童が、福崎小学校北校舎の余裕教室で宿題及び自主活動などを主として行い、放課後を過ごしました。

土曜日の利用を希望する児童については、センター方式により福崎東部学童保育園で保育を実施しました。また、新型コロナウイルス感染症対策のため引き続き衛生管理に努めました。

指導員においては、放課後児童支援員認定資格研修への参加により資質向上に努めました。

◆事業の成果

福崎西部学童保育園の運営（月曜日から金曜日）に要した費用です。主な支出は、学童保育の指導員に係る報酬です。

■学童保育園利用状況 ※（ ）内は長期休業中の利用人数（単位：人）

	平均利用者数	最大利用者数
4 月	43 (48)	57 (56)
5 月	45	54
6 月	44	52
7 月	42 (65)	52 (73)
8 月	(60)	(76)
9 月	42	49
10 月	40	53
11 月	37	47
12 月	39 (37)	52 (40)
1 月	37 (38)	46 (38)
2 月	37	44
3 月	33 (47)	39 (55)

□効果・達成度

留守家庭の小学生の健全育成及び安全の確保に努めることができました。

□課題・改善

質の高い保育を実施するため、人材確保と研修により指導員の資質向上に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
11,525,000	10,996,744	2,400,251		3,964,500	4,631,993

事業名／福崎東部学童保育園運営事業

◆事業内容(目的・必要性)

田原小学校及び八千種小学校の留守家庭の児童が、田原小学校体育館の北側にある福崎東部学童保育園において宿題及び自主活動などを行い、放課後を過ごしました。土曜日はセンター方式により町内4小学校の児童を対象に学童保育を実施しました。

園庭遊具については回転遊具・太鼓橋を撤去し、ジャングルジムを移設しました。また、はん登棒のがたつき箇所を溶接補強しました。加えて、藤棚を剪定して園庭の環境改善に努めました。

また、新型コロナウイルス感染症対策として衛生管理に努めました。

指導員においては、放課後児童支援員認定資格研修への参加により資質向上に努めました。

◆事業の成果

福崎東部学童保育園の運営（月曜日から土曜日）に要した費用です。主な支出は、学童保育の指導員に係る報酬です。

■学童保育園利用状況 ※（ ）内は長期休業中の利用人数（単位：人）

	平均利用者数	最大利用者数
4月	62 (56)	76 (58)
5月	64	72
6月	63	76
7月	61 (77)	74 (83)
8月	(57)	(89)
9月	49	62
10月	43	61
11月	51	61
12月	52 (41)	63 (45)
1月	47 (43)	55 (43)
2月	45	51
3月	44 (49)	53 (50)

□効果・達成度

留守家庭の小学生の健全育成及び安全の確保に努めることができました。

□課題・改善

質の高い保育を実施するため、人材確保と研修により指導員の資質向上に努めます。

予算額	決算額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
12,764,000	12,082,843	3,447,328		4,884,000	3,751,515

事業名／田原放課後子ども教室事業**◆事業内容(目的・必要性)**

田原小学校の1年生を対象に、田原小学校の教室において5月～3月の毎週月曜日（学校が休みの日などを除く。）に開催し、宿題や絵本の読み聞かせなどの活動をし、地域における子育て支援に努めました。

◆事業の成果

主な支出は、指導員の報酬です。

■利用状況（実利用人数）（単位：人）

	1年生
4月	—
5月	23
6月	25
7月	23
8月	—
9月	21
10月	21
11月	21
12月	24
1月	22
2月	25
3月	25
計	230

□効果・達成度

指導員として地域の方の協力を得ることで地域における子育て支援につながりました。

また、子どもたちにとっては地域の大人とのふれあいの場を持つことができました。

□課題・改善

約1時間という限られた時間の中で、宿題を済ませた児童の残り時間の過ごし方について、さらに工夫していく必要があります。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
210,000	157,935	86,400			71,535

事業名／八千種放課後子ども教室事業**◆事業内容(目的・必要性)**

八千種小学校の1年生を対象に、八千種小学校の教室において5月～3月の毎週火曜日（学校が休みの日などを除く）に開催し、宿題や折り紙などの活動をしなが、他の学年の児童の下校時刻と合わせることで、帰宅時の安全を確保することで地域における子育て支援に努めました。

◆事業の成果

主な支出は、指導員の報酬です。

■利用状況（実利用人数）（単位：人）

	1 年生
4 月	—
5 月	17
6 月	17
7 月	17
8 月	—
9 月	17
10月	17
11月	17
12月	17
1 月	17
2 月	17
3 月	16
計	169

□効果・達成度

他学年の児童の下校時刻に合わせて帰宅することで、低学年の児童の帰宅途中の安全確保に努めることができたほか、指導員として地域の方の協力を得ることで地域における子育て支援につながりました。

また、子どもたちにとっては地域の大人とのふれあいの場をもつことができました。

□課題・改善

約 1 時間という限られた時間の中で、宿題を済ませた児童の残り時間の過ごし方について、さらに工夫していく必要があります。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳（単位：円）			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
235, 000	192, 323	105, 600			86, 723

9. 教 育 費

教育費は、教育総務費、小学校費、中学校費、社会教育費、保健体育費に要した経費です。

本町では、教育の基本方針及び長期目標である「「志」の種をまく 福崎の教育 ～ すべての子どもの心に「灯」をともし 学校教育、町民みんなの 学びたいことが学べる 社会教育」を基調に、町民みんなが学ぶ福崎町の教育をめざして、知育・徳育・体育・食育の4育を基盤とし、夢に挑戦する子どもたちの「生きる力」を育む教育に取り組んできました。子どもたち一人ひとりの持つよさや可能性を伸ばし、自らの個性がより発揮できるように、倫理観、社会性、創造性、国際性を養う教育を推進しました。また、社会生活上のルール^{かんよう}の大切さや自己責任の自覚、他者を思いやる心の涵養、ふるさとや伝統文化を大切に思う気持ちを育むこと等、「心の教育」の充実に努めました。

新型コロナウイルス感染症の影響を最小限に抑え、感染防止を徹底しながら各種事業を展開しました。

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
II 教育・文化	2 学校教育	①教育環境の整備
総 ◆ 取 組 内 容	計画的な学校施設の長寿命化	安全で安心して学べる環境づくり
II 教育・文化	2 学校教育	②学校教育の充実
総 ◆ 取 組 内 容	不登校指導員などによる指導体制を維持・発展 学力向上への取り組み	いじめなどの問題への早急かつ適切な対応
IV 健康・医療・福祉	4 障がい福祉	②教育・育成の充実
総 ◆ 取 組 内 容	障がいへの理解に対する研修会の充実	専門知識を持つ教職員の配置

1 次評価：A

(1) 教育総務費

項	目	予算現額	支出済額	不用額
1. 教育総務費	1. 教育委員会費	1,286,000 円	1,099,003 円	186,997 円

地方教育行政全般の運営推進に要した経費で、主な支出は、委員4人にかかる報酬、教育長交際費です。

事業名／教育委員会事業

◆事業内容(目的・必要性)

教育委員会において、教育行政の基本方針や重要事項を審議し、幅広い分野の多様な地域住民の要望に的確に対応しました。きめ細やかな教育行政が主体的かつ積極的に展望できるよう、教育上の諸問題について協議しました。

教育委員会の会議は、定例会12回を開催しました。

協議内容及び件数は、次のとおりです。

- ・ 条例、規則等の制定、改廃に関すること 8 件
- ・ 教育関係予算に関すること 1 件
- ・ その他協議事項について 9 件
- ・ その他報告・連絡事項について 91 件

また、町長部局と連携を図り民意を反映させた教育行政を推進するための総合教育会議への出席、民生主任児童委員との意見交換会を実施しましたが、コロナ禍により学校行事の視察や各種研修会への参加は中止にしました。

◆事業の成果

GIGAスクールに取り組む先生へのフォローの必要性、学校でお世話になっている地域の方への感謝

状贈呈を創設する提言、いわゆる「生理の貧困」への取り組み等、教育諸課題並びに情勢をより早く察知し検討するとともに、個々の教育委員が情報収集に努め、協議検討を重ねました。

□効果・達成度

適正な事務処理が遂行できました。予算の適正な執行に努めました。

□課題・改善

さらなる自己研さん及び的確な情報収集に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,286,000	1,099,003				1,099,003

1 次評価 : A

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
1. 教 育 総 務 費	2. 事 務 局 費	91,700,000 円	91,001,964 円	698,036 円

教育長、職員 5 人、会計年度任用職員に係る人件費、心を開く親の会講師謝礼金、日本スポーツ振興センター負担金及び各種大会等参加費補助金等が主な支出です。

事業名／事務局一般事務費

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	①教育環境の整備
総 ◆ 取 組 内 容	計画的な学校施設の長寿命化	安全で安心して学べる環境づくり
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	②学校教育の充実
総 ◆ 取 組 内 容	不登校指導員などによる指導体制を維持・発展 学力向上への取り組み	いじめなどの問題への早急かつ適切な対応
Ⅳ 健康・医療・福祉	4 障がい福祉	②教育・育成の充実
総 ◆ 取 組 内 容	障がいへの理解に対する研修会の充実	専門知識を持つ教職員の配置

◆事業内容(目的・必要性)

教育行政の円滑な運営を図りました。

◆事業の成果

不登校指導員等の配置により、児童生徒の問題解決に早期に対応するとともに、ICT支援員を新たに配置し、学校でのICT活用を支援しました。

教育支援委員会を開催し、支援を要する児童生徒の実態把握及び特別支援学級の入級判定を行いました。学力向上委員会では、学力向上に取り組みました。

学齢簿の編製業務等に係る基幹系業務システムクラウド利用料として、4,389,000円を支払いました。

■福崎西中学校における損害賠償請求事件

平成30年3月26日に提起された訴訟は、令和3年12月13日に原告らの請求をいずれも棄却するとの一審判決が出ましたので、一審における弁護士費用（実費）77,268円を支払いました。

また、令和3年12月25日に原告らが控訴しましたので、これに関する弁護士費用（二審着手金）1,650,000円（税込）を支払いました。

□効果・達成度

不登校児童生徒に対するきめ細かな対応並びに特別支援学級への適正な入級判定ができました。

□課題・改善

教育情勢の変化に的確に対応し、さらなる教育行政の充実に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
14,891,000	14,533,322	918,000			13,615,322

事業名／学校保健安全事業

◆事業内容(目的・必要性)

学校保健安全法に基づき、児童・生徒及び教職員の健康管理に万全を期しました。

◆事業の成果

健康は教育の基本であるという理念のもと、児童・生徒及び教職員の健康保持・増進を図り、円滑な教育活動を展開するため、各種検診を実施しました。

■教職員検診費

学校名 検診名	福 崎 小		高 岡 小		田 原 小		八 千 種 小		西 中		東 中		計
	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円	円
胃部レントゲン	4	14,960	2	7,480	6	22,440	0	0	6	22,440	5	18,700	86,020
心 電 図	17	22,440	7	9,240	31	40,920	6	7,920	16	21,120	15	19,800	121,440
血 液	17	42,075	7	17,325	31	76,725	6	14,850	16	39,600	15	37,125	227,700
H b A 1 c	17	7,480	7	3,080	31	13,640	6	2,640	16	7,040	15	6,600	40,480
胸部撮影	17	24,310	7	10,010	31	44,330	6	8,580	16	22,880	13	18,590	128,700
眼 底	19	22,990	8	9,680	32	38,720	7	8,470	16	19,360	15	18,150	117,370
尿 検 査	17	1,870	7	770	31	3,410	5	550	17	1,870	15	1,650	10,120
診 察	17	11,220	7	4,620	31	20,460	6	3,960	16	10,560	15	9,900	60,720
聴 力	17	1,870	7	770	31	3,410	6	660	16	1,760	15	1,650	10,120
大腸がん	16	16,720	7	6,270	23	24,035	4	4,180	14	14,630	14	14,630	80,465
P S A	2	3,520	0	0	2	3,520	1	1,760	3	5,280	3	5,280	19,360
腹 囲	10	2,750	4	1,100	11	3,025	0	0	8	2,200	8	2,200	11,275
協会健保一般健診	2	8,513	1	3,819	1	3,652	1	4,861	0	0	0	0	20,845
追加血液検査	2	1,540	1	770	1	770	1	770	0	0	0	0	3,850
計		182,258		74,934		299,057		59,201		168,740		154,275	938,465

■児童・生徒検診費

	福 崎 小		高 岡 小		田 原 小		八 千 種 小		西 中		東 中		計
	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円	円
心臓検査	60	127,800	3	6,390	78	166,140	18	38,340	85	181,050	88	187,440	707,160
尿 検 査	405	40,095	47	4,653	479	47,421	136	13,464	239	23,661	282	27,918	157,212
計		167,895		11,043		213,561		51,804		204,711		215,358	864,372

■ストレスチェック委託料 15,906円

労働安全衛生法に基づき、教職員の心の健康のため、公立学校共済組合員154人、公立学校共済組合員以外の者5人がストレスチェック（オンライン診断）を受けました。

□効果・達成度

各検診を受診する機会を確保し、児童・生徒及び教職員の積極的な健康保持・増進を図ることができました。

□課題・改善

教育情勢の変化に的確に対応し、さらなる教育行政の充実に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,038,000	2,031,969				2,031,969

事業名／学校関係事業

◆事業内容(目的・必要性)

日本スポーツ振興センター負担金、各種大会等参加費補助金に係る事業です。

◆事業の成果

■各種大会等参加費

(単位:円)

学校名	大会名	派遣費用	各学校費用合計
福崎小	兵庫リレーカーニバル	18,338	67,042
	兵庫県小学生陸上競技大会	23,252	
	兵庫県小学生陸上競技交流大会	25,452	
高岡小	兵庫リレーカーニバル	6,203	6,203
田原小	兵庫県小学生陸上競技交流大会	11,152	11,152
八千種小	兵庫リレーカーニバル	3,152	3,152
福崎西中	中播地区中学校総合体育大会	729,870	3,768,417
	中播地区中学校新人大会	374,520	
	兵庫県中学校新人大会(バレーボール、バスケットボール)	194,360	
	兵庫リレーカーニバル	97,040	
	中播地区中学校駅伝大会	44,000	
	兵庫県中学校駅伝大会	120,160	
	兵庫県中学生陸上競技記録会	97,290	
	日本陸上競技選手権大会	31,658	
	兵庫県合唱コンクール	151,303	
	関西合唱コンクール	128,216	
	全日本合唱コンクール	1,800,000	
福崎東中	中播地区中学校総合体育大会	583,806	1,337,402
	近畿中学校総合体育大会(水泳)	3,180	
	全国中学校水泳競技大会	67,800	
	中播地区中学校新人大会	446,096	
	兵庫県中学校新人大会(野球、ソフトボール)	236,520	
計			5,193,368

□効果・達成度

児童及び生徒の活発な体育活動等を支援することができました。

□課題・改善

体育活動のみならず、文化活動についても積極的な活動を支援していきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6,730,000	6,671,918			702,650	5,969,268

事業名／国際教育推進事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施 策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	3 国際化		①国際理解の推進
総 ◆ 取 組 内 容	国際教育・交流及び語学教育の推進(学校教育)		未来の国際化を担う人材の育成
I 地域づくり・行政	3 国際化		②国際交流の推進
総 ◆ 取 組 内 容	国際交流に関する情報の提供		「日本語サロン」など交流の機会づくり、支援・拡充

◆事業内容(目的・必要性)

外国語指導助手（ＡＬＴ）による国際理解教育を展開しました。また、外国人児童に対する学習支援員による学習サポートを行いました。ＡＬＴの報酬等に係る事業です。

◆事業の成果

令和３年７月まではＡＬＴを１人配置し、小中学校の英語教育・国際教育を充実させ、地域の国際化にも有効に活用しました。８月以降は新型コロナウイルス感染症の影響による渡航制限により、ＡＬＴの来日が見送られ、一時はＡＬＴが不在の期間がありましたが、１１月からは２人体制で事業を進めました。

□効果・達成度

生きた英語にふれることで児童及び生徒の英語に対する興味・関心が高まり、充実した国際教育が展開できました。

□課題・改善

ＡＬＴ等の指導能力をさらに高め、より一層国際教育の充実に努めます。非常時においても、継続した英語学習のため、ＩＣＴを活用した言語活動や国際交流を行い英語力の向上をめざします。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6,481,000	6,228,839				6,228,839

1 次 評 価 : A

(2) 小学校費

項	目	予算現額	支出済額	繰越明許費	不 用 額
2. 小 学 校 費	1. 学 校 管 理 費	483,841,000 ^円	372,384,938 ^円	109,000,000 ^円	2,456,062 ^円

小学校における義務教育活動の充実と向上を図るために要した経費です。

主な支出は、会計年度任用職員に係る人件費、校医等の報酬、一般・教材事務費、施設管理委託料、土地借上料、備品購入費、負担金等です。学校生活はコロナの影響が続きましたが、手指消毒やマスクの着用など感染予防を徹底しながら学校活動を継続しました。

事業名／小学校管理事業、小学校校外事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	①教育環境の整備
総◆取組内容	教育環境の向上（情報機器の更新・拡充）	
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	②学校教育の充実
総◆取組内容	道徳教育のさらなる充実、ふるさと学習の継続	

◆事業内容(目的・必要性)

学校教育法に定める目的及び目標達成のための小学校教育を推進しました。

◆事業の成果

心身の発達に応じて小学校で実施する教育の目的を達成するため、合理的な運営を行いました。

教育施設の維持管理、教材備品の整備充実及び教育活動の充実向上を図りました。

■学校別児童・教員数調べ

R 3. 5. 1 現在（単位：人）

学校	学年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計	教員	事務職・ 栄養教諭等
福 崎 小		61	73	62	61	88	64	409	25	2
高 岡 小		3	7	7	7	11	12	47	9	3
田 原 小		78	77	78	84	80	84	481	27	4
八 千 種 小		18	24	23	20	25	27	137	12	2
計		160	181	170	172	204	187	1,074	73	11
令和 2 年度		176	171	169	204	189	181	1,090	74	11

■小学校別児童数の推移

R 3. 5. 1 現在（単位：人）

学 校 名	H29	H30	R1	R2	R3
福崎小学校	415	423	434	420	409
高岡小学校	67	66	57	49	47
田原小学校	474	483	487	482	481
八千種小学校	149	137	131	139	137
計	1,105	1,109	1,109	1,090	1,074

■校医等の報酬

内 科 医（4 人）	2,142,460円	定期健康診断、就学前健康診断他
歯 科 医（4 人）	1,402,420円	
眼 科 医（1 人）	696,100円	
耳鼻科医（1 人）	697,000円	
薬 剤 師（3 人）	340,900円	教室の空気環境検査、飲料水の水質検査、食器洗浄検査

■施設修繕料

（単位：円）

福 崎 小	高 岡 小	田 原 小	八 千 種 小	計
383,930	160,820	184,250	68,200	797,200

■委託料関係

（単位：円）

区分	校名	福 崎 小	高 岡 小	田 原 小	八 千 種 小	計
筆 耕 委 託 料		22,528	4,224	26,040	9,504	62,296
植木剪定等委託料		105,915	105,675	220,000	105,073	536,663
リソグラフ保守管理委託料		87,252	46,200	87,868	36,300	257,620
清 掃 委 託 料		120,000	120,000	0	0	240,000
警 備 委 託 料		284,592	284,592	284,592	284,592	1,138,368
電気設備管理委託料		204,600	118,800	237,600	188,760	749,760
貯水槽管理委託料		73,975	73,975	73,975	73,975	295,900

給食用昇降機点検委託料	0	66,000	66,000	66,000	198,000
消防設備点検委託料	35,090	35,090	35,090	35,090	140,360
プール循環装置点検委託料	0	13,200	13,200	13,200	39,600
エレベーター点検委託料	580,800	—	—	—	580,800
小学校体験活動事業委託料	1,035,838	548,919	1,170,086	580,044	3,334,887
ガス設備点検委託料	10,780	7,480	14,080	10,780	43,120
計	2,561,370	1,424,155	2,228,531	1,403,318	7,617,374

■自然学校推進事業

自然学校は、学習の場を教室から豊かな自然の中へ移し、様々な体験活動を通して、自分で考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する力や、生命に関する畏敬の念、感動する心、ともに生きる心を育む等、「生きる力」を育成することを目的として実施している県の補助事業です。町内全小学校5年生204人が2班に分かれ、兵庫県立南但馬自然学校で実施しました。令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施日数を2泊3日（前半：11/15～11/17、後半：11/17～11/19）に縮小し、自然観察、昼食作り、制作活動等充実した自然学校を体験しました。主な支出は、バス借上料、施設使用料等です。

■使用料・借上料

学習支援ソフト使用料	3,518,724円
福崎小学校敷地借上料（638.28坪）	1,320,610円
小学校コンピュータ等借上料	24,384,824円

■備品購入関係

国の「学校保健特別対策事業費補助金」、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用し、リモート授業等に対応するための機器の導入の他、一般備品、図書等を購入し、各校の充実に図りました。

（単位：円）

区分	校名	福崎小	高岡小	田原小	八千種小	事務局	計
一般備品		195,580	216,711	485,331	375,122	773,740	2,046,484
教材備品		618,247	288,530	847,695	413,215	349,340	2,517,027
図書購入費		199,848	180,952	92,895	145,921	250,030	869,646
計		1,013,675	686,193	1,425,921	934,258	1,373,110	5,433,157

■負担金関係 体験農園学習実施状況

体験学習（いも植え・いも掘り）	1人150円
〃（田植え）1人150円（稲刈り）1人300円	
〃（もち麦種まき・もち麦刈取り）	1人250円

学校名	いも植え (人)	いも掘り (人)	田植え (人)	稲刈り (人)	もち麦種まき (人)	もち麦刈取り (人)	入園料(円)
福崎小	134	135	88	88	—	135	113,700
高岡小	—	24	23	23	—	—	13,950
田原小	77	76	80	78	—	—	58,350
八千種小	24	24	25	25	—	—	18,450
計	235	259	216	214	—	135	204,450

■授業目的公衆送信補償金

I C Tを活用した教育での著作物を利用するため、補償金として137,940円を支出しました。

□効果・達成度

各学校において、それぞれ必要な備品等を購入し、教育環境をさらに充実させることができました。

自然学校では、5年生が自然の中での宿泊体験を通して、豊かな感性や社会性を育む活動を行いました。

□課題・改善

これからも継続して、理科教育設備整備費等補助金等を活用し、備品の整備に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
124,648,000	117,837,271	3,551,000		250,000	114,036,271

事業名／小学校管理事業【令和2年度から繰越】

◆事業内容(目的・必要性)

各学校が新型コロナウイルス感染症拡大防止対策等を徹底しながら、児童の学習保障への取り組みを実施するために必要な保健衛生資材、一般備品等を購入し、各学校の充実を図りました。

◆事業の成果

国の「学校保健特別対策事業費補助金」、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用して、感染症拡大防止対策のための衛生資材等の購入、職員研修、学習保障を行いました。

■事業内容

- ・事務消耗器材費の購入（ミニキーボード、二酸化炭素測定器等）
- ・保健衛生資材の購入（手指消毒剤、手袋、経口補水液等）
- ・端末操作研修委託
- ・バス借上料（修学旅行バス増便）
- ・備品購入（エアコン設置、空気清浄機等）

□効果・達成度

小学校の感染症拡大防止対策の徹底と感染症拡大の状況に対応するための教職員の資質向上を図りながら、学校教育活動を円滑に継続することができました。

□課題・改善

令和4年度も引き続き、徹底した感染症拡大防止対策を実施し、安全安心な学校生活が送れるよう対応します。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4,000,000	4,000,000	4,000,000			

事業名／小学校施設整備・補修事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	①教育環境の整備
総 ◆ 取 組 内 容	計画的な学校施設の長寿化	

◆事業内容(目的・必要性)

学校施設の補修等に要した経費です。

◆事業の成果

老朽化等による不良箇所の更新及び修繕を行いました。また、獣害被害防止のため緊急にフェンスを設置して対応しました。

■修繕関係

(単位：円)

学校名	内 容	金 額	各校合計
福崎小	体育館玄関扉修繕	646,800	1,226,740
	図工室漏水修理	272,800	
	家庭科室他ガス漏れ修繕	80,300	
	保健室エアコン冷媒配管取替	101,200	
	プール用メーター更新	125,640	
高岡小	体育館LED照明器具取替	275,000	534,360
	玄関周り修繕	198,000	
	プール用メーター更新	61,360	
田原小	高架水槽排水バルブ・タラップ取替修理	250,800	353,100
	雨漏り修繕	102,300	
八千種小	PAS操作紐取替修繕	114,180	813,780
	建具入替	491,700	
	天井材張替修繕	207,900	
合 計			2,927,980

■業務委託料 田原小学校上運動場砂場入替業務委託 132,000円

■工事請負費

(単位：円)

学校名	内 容	金 額	各校合計
福崎小	保健室空調設備更新工事	495,000	629,200
	駐車場区画線設置工事	134,200	
高岡小	回転ジム解体撤去	149,050	149,050
八千種小	校舎北側フェンス設置	380,600	380,600
合 計			1,158,850

■備品関係

(単位：円)

学校名	内 容	金 額
福崎小	10 型消火器取替	33,000
高岡小	給食コンテナ搬入口火災感知器設置	68,200
田原小	田原小学校職員室電話機増設	77,000
八千種小	屋外時計更新	255,200
合 計		433,400

□効果・達成度

老朽化等により不具合が生じている箇所または生じる恐れのある箇所について、修繕することができました。

□課題・改善

学校での安全安心な生活に寄与するため、不具合が生じている箇所等については修繕することができましたが、今後の老朽化等による補修の必要な箇所を十分に把握し、計画的な補修事業を展開することにより、引き続き適正な管理運営に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4,657,000	4,652,230			250,000	4,402,230

事業名／小学校施設長寿命化改良事業【令和２年度からの繰越を含む】

◆事業内容(目的・必要性)

福崎町学校施設等長寿命化計画に基づき、福崎小学校北校舎の長寿命化改修工事を令和２年度と令和３年度の２か年で実施しました。改修工事を行うことで、経年劣化による損耗や低下した機能の回復、耐用性、快適性、省エネ性を確保することができます。

また、令和４年度に実施する田原小学校のトイレ改修工事の実施設計を行うとともに、工事費並びに工事監理委託料を繰越明許費として令和４年度に繰り越しました。

◆事業の成果

■福崎小学校北校舎長寿命化改修工事

契約金額：371,019,000円（請負者：平錦建設株式会社）

- ・ R 2 事業費 140,579,500円
- ・ R 2 繰越事業費 140,580,000円
- ・ R 3 事業費 89,859,500円

R 3 支払額 230,439,500円（うち学校施設環境改善交付金59,575,000円）

■福崎小学校北校舎長寿命化改修工事監理業務委託

契約金額：5,449,400円（受託者：株式会社村上建築設計室）

- ・ R 2 事業費 2,059,200円
- ・ R 2 繰越事業費 2,059,200円
- ・ R 3 事業費 1,331,000円

R 3 支払額 3,390,200円

■小中学校トイレ改修工事実施設計業務委託

契約金額：3,080,000円（受託者：前川設計工房一級建築士事務所）

□効果・達成度

福崎小学校北校舎長寿命化改修工事は、校舎を利用しながらの施工でしたが、工期内に完了することができました。また、田原小学校トイレ改修工事に係る実施設計が完了し、令和４年度に工事を発注する準備ができました。

□課題・改善

工事を円滑に進めるために、学校・工事関係者との協議を頻繁に実施するとともに、周辺住民等へ工事説明を丁寧に行いました。

トイレ改修工事が学校生活に支障をきたさないよう、安全には十分に配慮して夏休みを中心に施工します。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
341,548,000	236,909,700	59,575,000	140,400,000		36,934,700

1次評価：A

項	目	予算現額	支出済額	不用額
2.小学校費	2.教育振興費	11,574,000 ^円	11,337,230 ^円	236,770 ^円

心身に障がいをもつ児童の教育及び要保護・準要保護児童の扶助に要した経費です。

事業名／小学校教育振興事業、小学校教育振興枠外事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	② 学校教育の充実
総◆ 取組内容	特別支援教育の充実	

◆事業内容(目的・必要性)

障がいに応じた教育課程を編成し、教育活動の充実を図りました。

教育の機会均等を保障するため、就学援助を行いました。

◆事業の成果

備品等を充実させ、学級運営の円滑化を図りました。

福崎小 5学級(知的、自閉症・情緒①②、難聴、肢体)

高岡小 1学級(知的)

田原小 4学級(知的、自閉症・情緒①②③)

八千種小 3学級(知的、自閉症・情緒、難聴)

■学校別児童数調(特別支援学級)

R 3. 5. 1 現在(単位：人)

校名	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
福崎小学校		2	5	3	1	10	2	23
高岡小学校		0	0	0	1	0	1	2
田原小学校		0	6	2	9	7	2	26
八千種小学校		0	1	0	3	0	3	7
計		2	12	5	14	17	8	58

■備品購入費

(単位：円)

区分	校名	福崎小	高岡小	田原小	八千種小	計
一般備品		291,554	0	229,717	191,928	713,199
教材備品		238,502	60,500	99,200	216,700	614,902
計		530,056	60,500	328,917	408,628	1,328,101

■就学援助費支給状況

経済的理由等で就学困難な児童に対して、就学援助を行いました。

扶 助 内 容	援助人数	金 額(円)
学 用 品	138	1,598,300
修 学 旅 行	16	343,160
新入学学用品	19	944,635
給 食 費	135	4,967,352
P T A 会 費	73	161,750
卒業アルバム代等費	14	107,655
計		8,122,852

□効果・達成度

就学援助により、援助の必要な児童の教育環境を整えることができました。

□課題・改善

さらなる特別支援教育の支援及び就学援助の充実に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
11,574,000	11,337,230	568,000			10,769,230

1次評価：A

(3) 中学校費

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	繰越明許費	不 用 額
3. 中 学 校 費	1. 学 校 管 理 費	355,470,000 ^円	83,595,496 ^円	270,600,000 ^円	1,274,504 ^円

中学校における義務教育活動の充実と向上を図るために要した経費です。

主な支出は、会計年度任用職員に係る人件費、校医等の報酬、一般・教材事務費、施設管理委託料、備品購入費、負担金等です。学校生活は新型コロナウイルス感染症の影響が続きましたが、手指消毒やマスクの着用など感染予防を徹底しながら学校活動を継続しました。

事業名／中学校管理事業、中学校校外事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化		2 学校教育	①教育環境の整備
総	◆ 取 組 内 容	教育環境の向上（情報機器の更新・拡充）	
Ⅱ 教育・文化		2 学校教育	②学校教育の充実
総	◆ 取 組 内 容	道徳教育のさらなる充実、ふるさと学習の継続	

◆事業内容(目的・必要性)

学校教育法に定める目標及び目的達成のための中学校教育を推進しました。

◆事業の成果

小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて中学校で実施する教育の目的を達成するために合理的な運営を行いました。

無限の可能性を有する生徒たちが、自ら人間性を養うための教育整備と教育活動の充実を図りました。

■学校別生徒・教職員数調

R 3. 5. 1 現在 (単位:人)

校名	学年	1 年	2 年	3 年	計	教 員	事務職・栄養教諭等
福 崎 西 中 学 校		86	91	65	242	23	3
福 崎 東 中 学 校		88	90	106	284	25	2
計		174	181	171	526	48	5
令 和 2 年 度		181	171	173	525	46	5

■中学校別生徒数の推移

R 3. 5. 1 現在 (単位:人)

学 校 名	H29	H30	R1	R2	R3
福 崎 西 中 学 校	240	234	216	222	242
福 崎 東 中 学 校	332	338	328	303	284
計	572	572	544	525	526

■校医等の報酬

内 科 医 (2 人) 1,049,110円 定期健康診断他

歯科医（2人）	631,740円	
眼科医（1人）	356,650円	
耳鼻科医（1人）	353,500円	
薬剤師（2人）	97,400円	教室の空気環境検査、飲料水の水質検査、食器洗浄検査

■施設修繕料

（単位：円）

福 崎 西 中 学 校	福 崎 東 中 学 校	計
374,000	580,096	954,096

■委託料関係

（単位：円）

区分	校名	福 崎 西 中	福 崎 東 中	計
筆 耕 委 託 料		22,880	0	22,880
植 木 剪 定 等 委 託 料		185,794	250,000	435,794
リ ソ グ ラ フ 保 守 管 理 委 託 料		87,604	87,252	174,856
「トライやる・ウィーク」推進事業委託料		600,000	600,000	1,200,000
清 掃 委 託 料		120,000	0	120,000
警 備 委 託 料		284,592	284,592	569,184
電 気 設 備 管 理 委 託 料		188,760	188,760	377,520
貯 水 槽 管 理 委 託 料		105,050	105,050	210,100
給 食 用 昇 降 機 点 検 委 託 料		33,000	33,000	66,000
消 防 設 備 点 検 委 託 料		38,390	38,390	76,780
プ ール 循 環 装 置 点 検 委 託 料		13,200	13,200	26,400
エ レ ベ ー タ ー 点 検 委 託 料		448,800	—	448,800
ガ ス 設 備 点 検 委 託 料		10,780	7,480	18,260
計		2,138,850	1,607,724	3,746,574

■使用料・借上料

学習支援ソフト使用料	1,748,736円
中学校コンピュータ等借上料	14,771,744円

■備品購入費関係

国の「学校保健特別対策事業費補助金」、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用し、リモート授業等に対応するための機器の導入の他、教材備品、図書等を購入し、各校の充実を図りました。

（単位：円）

区分	校名	福崎西中学校	福崎東中学校	事務局	計
一 般 備 品		469,840	691,438	386,870	1,548,148
教 材 備 品		517,710	603,759	4,738,740	5,860,209
図 書 購 入 費		295,438	300,000	0	595,438
計		1,282,988	1,595,197	5,125,610	8,003,795

■英語検定料補助金

生徒の英語力及び学習意欲の向上を図ることを目的に実施される英語検定の受検にかかる保護者負担を軽減するため、英語検定料を助成しました。

(単位：円、人)

	検定料	人数	補助金額
4 級	2,900	3	8,700
3 級	4,800	41	196,800
準 2 級	5,800	16	92,800
2 級	6,500	1	6,500
計		61	304,800

■授業目的公衆送信補償金

I C Tを活用した教育での著作物を利用するため、補償金として102,762円を支出しました。

□効果・達成度

適正な事務処理が遂行できました。予算の適正な執行に努めました。

□課題・改善

教育情勢の変化に的確に対応し、さらなる教育行政の充実に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
72,198,000	69,146,961	3,573,000			65,573,961

事業名／中学校管理事業【令和2年度から繰越】

◆事業内容(目的・必要性)

各学校が感染症対策等を徹底しながら、生徒の学習保障をするための取り組みを実施するために必要な保健衛生資材、一般備品等を購入し、各学校の充実を図りました。

◆事業の成果

国の「学校保健特別対策事業費補助金」、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用して新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のための衛生資材等の購入、職員研修、学習保障を行いました。

■事業内容

- ・事務消耗器材費の購入（二酸化炭素測定器等）
- ・保健衛生資材の購入（手指消毒剤、手袋、経口補水液等）
- ・端末操作研修委託
- ・バス借上料（修学旅行バス増便）
- ・備品購入（サーマルカメラ、ホワイトボード等）

□効果・達成度

中学校の感染症拡大防止対策の徹底と感染症拡大の状況に対応するための教職員の資質向上を図りながら、学校教育活動を円滑に継続することができました。

□課題・改善

令和4年度も引き続き、徹底した感染症拡大防止対策を実施し、安全安心な学校生活が送れるよう対応します。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,000,000	2,000,000	2,000,000			

事業名／中学校施設整備・補修事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	①教育環境の整備
総 ◆ 取 組 内 容	計画的な学校施設の長寿命化	

◆事業内容(目的・必要性)

学校施設の補修等に要した経費です。

◆事業の成果

老朽化等による不良箇所の更新及び修繕等を行いました。

■施設補修関係

(単位:円)

学校名	内 容	金 額	各校合計
福崎西中	理科室流し配管修繕	158,400	2,158,200
	外壁露筋修繕	258,500	
	コンピューター室室外機漏電修理	489,500	
	昇降口ドアフロアヒンジ修理	280,500	
	グラウンド防球ネット修繕	236,500	
	エレベーター室漏水修繕	437,800	
	体育館卓球場照明器具取替	71,500	
	教室床修繕	55,000	
	ダムウェーター前床部分張替	44,000	
	プール用メーター更新	126,500	
福崎東中	外壁爆裂箇所緊急処置修繕	297,000	1,221,000
	屋上防水シート等修繕	357,500	
	屋外バスケット板修理	126,500	
	外壁等露筋補修	440,000	
合 計			3,379,200

■業務委託料 福崎東中学校 プールシャワー改修工事実施設計 297,000円

■備品関係

(単位:円)

学校名	内 容	金 額	各校等合計
福崎西中	校長室空調設備更新	377,300	395,450
	10 型消火器取替	18,150	
福崎東中	屋外時計更新	407,000	407,000
合 計			802,450

□効果・達成度

老朽化等により不具合が生じている箇所または生じる恐れのある箇所について、修繕することができました。

□課題・改善

今後の老朽化等による補修の必要な箇所を十分に把握し、計画的な補修事業を展開することにより、引き続き適正な管理運営に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4,500,000	4,478,650				4,478,650

事業名／中学校施設長寿命化改良事業

◆事業内容(目的・必要性)

令和4年度に実施する福崎西中学校並びに福崎東中学校のトイレ改修工事の実施設計を行うとともに、工事費並びに工事監理委託料を繰越明許費として令和4年度に繰り越しました。

◆事業の成果

■小中学校トイレ改修工事実施設計業務委託

契約金額：3,773,000円（受託者：前川設計工房一級建築士事務所）

□効果・達成度

福崎西中学校並びに福崎東中学校トイレ改修工事に係る実施設計が完了し、令和4年度に工事を発注する準備ができました。

□課題・改善

トイレ改修工事が学校生活に支障をきたさないよう、安全には十分配慮して夏休みを中心に施工します。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
272,573,000	3,773,000				3,773,000

1次評価：A

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
3. 中 学 校 費	2. 教 育 振 興 費	7,013,000 ^円	6,961,863 ^円	51,137 ^円

心身に障がいのある生徒の教育及び要保護・準要保護生徒の扶助に要した経費で、主な支出は、一般事務費、備品購入費及び就学援助費です。

事業名／中学校教育振興事業、中学校教育振興枠外事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	②学校教育の充実
総◆取組内容	特別支援教育の充実	

◆事業内容(目的・必要性)

障がいに応じた教育課程を編成し、教育活動の充実を図りました。

教育の機会均等を保障するため、就学援助を行いました。

◆事業の成果

備品等を充実させ、学級運営の円滑化を図りました。

西中 2学級（知的、自閉症・情緒）

東中 3学級（知的、自閉症・情緒、肢体）

■学校別生徒数調（特別支援学級）

R 3. 5. 1 現在（単位：人）

校名 \ 学年	1 年	2 年	3 年	計
福 崎 西 中 学 校	4	2	0	6
福 崎 東 中 学 校	3	4	1	8
計	7	6	1	14

■備品購入費

（単位：円）

区分 \ 校名	福 崎 西 中 学 校	福 崎 東 中 学 校	計
一 般 備 品	0	61,490	61,490
教 材 備 品	0	30,030	30,030
計	0	91,520	91,520

■就学援助費支給状況

経済的理由で就学困難な生徒に対して就学援助を行いました。

扶 助 内 容	援助人数	金 額(円)
学 用 品	54	1,232,175
修 学 旅 行	15	788,684
新 入 学 学 用 品	19	1,046,970
給 食 費	51	2,284,296
ク ラ ブ 活 動 費	38	521,710
生 徒 会 費	43	30,268
P T A 会 費	43	143,100
卒業アルバム代等費	15	118,800
計		6,166,003

□効果・達成度

就学援助により、援助の必要な生徒の教育環境を整えることができました。

□課題・改善

さらなる特別支援教育の支援及び就学援助の充実に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7,013,000	6,961,863	281,000			6,680,863

1次評価：B

(4) 社会教育費

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4. 社会教育費	1. 社会教育総務費	44,071,000 円	42,993,995 円	1,077,005 円

生涯学習の充実、家庭や地域社会における教育力の向上に資するための社会教育全般にわたる事業の推進、また、青少年健全育成活動の推進に要した経費です。

総合計画**後期基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化		4 青少年健全育成	② 青少年の健全育成の推進
総	◆ 取組内容	多彩な学習機会を提供	
Ⅱ 教育・文化		5 生涯学習	① 生涯学習施設の整備・充実
総	◆ 取組内容	バリアフリー化の推進	生涯学習の場を広く提供
Ⅱ 教育・文化		5 生涯学習	② 情報提供の充実
総	◆ 取組内容	積極的な情報の提供	幅広い世代への利用促進
Ⅱ 教育・文化		5 生涯学習	③ クラブ活動・学習成果発表の場の充実
総	◆ 取組内容	誰もが学習できる場と機会の提供	地域社会で生かせるリーダーの養成
Ⅱ 教育・文化		7 芸術・文化、文化財	① 芸術・文化活動の推進
総	◆ 取組内容	幅広い年代層が参加できる芸術・文化活動の展開	地域の文化振興

事業名／社会教育総務一般事務費

◆事業内容(目的・必要性)

社会教育振興のために、行政と地域住民をつなぐ社会教育委員会の開催などを行いました。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら成人式や吉識雅夫科学賞を実施し、社会教育の推進に努めました。

◆事業の成果

■社会教育委員会の活動

- ・社会教育委員会（年3回 5/20、12/10、3/16）

社会教育事業の説明や進捗状況の報告、施設の視察等で意見をいただき、今後の事業推進の参考とすることができました。

- ・中播磨・西播磨地区社会教育連絡協議会合同研修会（11/24）

相生市文化会館での合同研修会に参加し、講演を拝聴し社会教育委員の教育力の向上を図りました。

■成人式 1月10日（月・祝） 該当者216人中157人の参加

新成人代表10人による実行委員会を組織し、企画立案から記念品の選定、式典・アトラクション準備、当日の式典等の進行までを実行委員が積極的に進めました。今回も式典会場は文化センターを使い、開催時間の短縮に努めるなど、感染症拡大防止対策を講じながら実施しました。

- ・第1部 成人式式典
- ・第2部 アトラクション（お楽しみ抽選会）

■第14回吉識雅夫科学賞

吉識雅夫の顕彰を図るとともに子どもたちの自然科学に対する興味、関心、意欲を高めることを目的として、自然科学分野で優れた研究等を行った児童・生徒に対して賞を贈りました。

- ・小学校低中学年の部

山本結菜（田原小学校4年生） 作品名「たまごの不思議」

- ・小学校高学年の部

吉田 颯（田原小学校 5 年生） 作品名「ハムスターの観察日記」

・中学校の部

荒瀬 ほのか（福崎東中学校 1 年生） 作品名「睡魔をやっつけろ～最強の眠気覚まし方法を探せ～」

□効果・達成度

感染症拡大防止対策を講じながら、社会教育委員会、成人式や吉識雅夫科学賞をはじめとする社会教育行政の推進に努めました。成人式は大人の仲間入りを果たしたという厳粛な雰囲気の中で開催できました。式典会場に入場できなかった家族に対し、後日、成人式の模様を動画サイトで視聴いただく対応を行いました。吉識雅夫科学賞では、各小中学校から合計65作品の提出がありました。作品は、地域住民へのさらなる周知を図るため、図書館において、吉識雅夫の功績を紹介するコーナーも設け、児童・生徒の研究成果を展示発表しました。

□課題・改善

今後も、社会教育委員と共に地域のニーズを把握し、社会教育の推進を図ります。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,568,000	1,312,077				1,312,077

事業名／地域ぐるみ教育支援事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化		2 学校教育	①教育環境の整備
総	◆ 取 組 内 容	地域ヘルパー、スクールヘルパーとの連携	

◆事業内容(目的・必要性)

学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てることを目的に活動しました。主な取り組みは、土曜英語教室・サマースクール・ウィンタースクール等の教育支援活動、登下校時の見守りや校内巡視の学校支援活動です。

◆事業の成果

■学校支援活動（学校支援地域本部事業）

【ヘルパー活動】

スクールヘルパー … 午前・午後各 3～5 人ずつによる校内巡視

地域ヘルパー … 登下校時の見守り（1 自治会で 2～3 か所）

	スクールヘルパー	地域ヘルパー
福崎小学校（128 人）	毎週火・木曜日	毎週金曜日
高岡小学校（45 人）	毎週水曜日	毎週水曜日
田原小学校（115 人）	毎週月・水・金曜日	週 3 回
八千種小学校（71 人）	毎週火・木曜日	毎週水曜日

■教育支援活動（地域で“共育”土曜チャレンジ学習事業）

・土曜英語教室 小学 3・4・5・6 年生対象

令和 3 年 6 月から令和 4 年 3 月までの土曜日 各校区月 1 回

会場：高岡県民交流広場、文化センター、サルビア会館、八千種県民交流広場

・サマースクール 小学 4・5・6 年生対象

令和 3 年 8 月 3 日（火）～7 日（土） 文化センター

令和3年7月26日（月）～30日（金） 高岡県民交流湯広場

令和3年8月2日（月）～6日（金） サルビア会館

令和3年7月29日（木）～30日（金）、8月4日（水）～6日（金） 八千種県民交流広場

・ウィンタースクール 中学3年生対象

令和3年11月6日（土）～令和4年3月5日（土）の土曜日

会場：文化センター、サルビア会館（会場交互で実施）

図書貸出等を行う学校支援ボランティア活動は、学校から依頼がなかったため、実施していません。

□効果・達成度

地域ボランティアの支援を受けて、子どもたちの安全確保に努め、その中で子どもたちと地域ボランティアがふれあうこともできました。また、学校の休業日・土曜日に地域の力を借りて学習の場を提供することもできました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H29	H30	R1	R2	R3	目標(R5)
地域スクールヘルパー登録者数	434	395	354	371	359	470

□課題・改善

継続的な活動にしていくために、各学校へのボランティア制度の周知、ボランティアの確保に努めます。また、学習申込者に継続して参加していただけるように、内容を工夫していきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,080,000	841,263	376,000			465,263

事業名／青少年健全育成関係事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化		4 青少年健全育成	② 青少年の健全育成の推進
総 計	◆ 取 組 内 容	家庭の教育力向上、子育て支援や家庭教育の啓発	青少年やその家族などへの相談支援
		積極的な非行防止・環境浄化活動	

◆事業内容(目的・必要性)

青少年の健全育成を図るため、青少年問題協議会の開催や啓発リーフレットの作成、青少年補導委員会活動への補助等を行いました。人権・青少年健全育成研修会及び、人権・青少年健全育成フェスティバルは新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら実施しました。

◆事業の成果

■青少年問題協議会の開催（年2回 7/12、3/1）

青少年健全育成に関する取り組みや現状・課題についての報告を受け、今後の取り組みの参考となる情報共有を図りました。

■青少年健全育成啓発リーフレットの作成（各戸、町内店舗等に配布） 6,300枚

■青少年補導委員会活動状況

- ・定例会 11回
- ・街頭補導（下校時巡回、白ポスト回収、長期休暇中巡回等）

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
街頭補導回数	78回	66回	75回

□効果・達成度

新型コロナウイルス感染症拡大の影響下ではありましたが、自治会研修会は17自治会で実施され、学校の先生方の参加により、町民に子どもたちの学校での様子等について知っていただけました。また、啓発リーフレットの作成や街頭補導などの啓発活動により「地域の子どもは地域で育てる」という意識を高めることができました。

□課題・改善

今後も地域の青少年健全育成委員、青少年補導委員会、学校、各種団体との連携を図り、有害環境の改善や声かけ運動を実施し、子どもたちの健全な成長を支援していきます。子どもの犯罪被害やインターネットの正しい利用に関する情報などについて啓発リーフレットを用いて町民へ周知します。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,840,000	2,696,636				2,696,636

事業名／家庭教育学級開設事業

◆事業内容(目的・必要性)

幼稚園（4園）・小学校（4校）・中学校（2校）の保護者会会員・PTA会員を対象に、各保護者会・PTA学級の活動を援助し、子育てについて保護者の抱える問題や社会的に学ぶ必要のある課題に対応するため、学習会や講演会の開催、また、保護者同士のコミュニケーションを持つ奉仕活動等を1年通して実施しました。

◆事業の成果

■家庭教育学級開設事業（幼稚園・小中学校）

報償費 71,136円

委託料 253,306円

□効果・達成度

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、計画通りに事業実施とはいきませんでした。対策をしながら学級開設を行い、責任を持って子育てができる資質と実践力を学び、家庭の教育力を高めることができました。

□課題・改善

今後も継続して実施し、保護者の子育て力向上を支援していきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
640,000	324,442				324,442

事業名／各種団体育成事業

◆事業内容(目的・必要性)

社会教育関係団体を育成することを目的とし、自主的な活動を財政的な面から支援しました。主な支出は、町PTA、町文化協会への補助金です。

◆事業の成果

■負担金

・ 神崎郡美術協会負担金 23,000円 ・ 神崎郡連合PTA協議会負担金 57,000円

■補助金

・ 福崎町PTA協議会補助金 80,000円 ・ 福崎町文化協会補助金 400,000円

□効果・達成度

町内及び郡内の社会教育関係団体と連携を図り、各種事業を円滑に実施することができました。

□課題・改善

今後も継続して実施し、社会教育活動の活性化に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
560,000	560,000				560,000

事業名／こころ豊かな地域づくり推進事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	①地域資源などを生かした人材教育
総 ◆ 取 組 内 容	学校支援地域本部事業の推進(地域教育力の向上)	

◆事業内容(目的・必要性)

こころ豊かなまちづくりと人づくりをめざし、福崎町の地域づくり、景観づくりをボランティアの立場から考えて行動しようとする自主的なグループを育成するための事業を実施しました。

◆事業の成果

■福崎町ココロクラブ

年間9回(4月～11月、3月の毎月1回)役場及びもちむぎのやかた周辺道路の街路樹下の維持管理を行いました。5月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。

■みどりのグループ

年間を通じて、毎月2回、町内の4か所の花壇と、県のプランターの維持管理を行いました。

■福崎町手芸ボランティア

趣味の手芸作品を作って販売し、売上金を社会福祉協議会に寄付しました。

■国際食文化交流の会

福崎町在住の外国人が暮らしやすく、日本人と外国人が異なる文化を尊重しながらともに生活できる環境づくりを進めるため、2か月に1回、料理を通して国際交流を行う予定でしたが、令和3年度も感染症拡大防止のため、実施できませんでした。

■たんぽぽ

子どもや高齢者、障がいのある方々に、お話や簡単な手遊び等で、癒しのひとときを過ごしてもらいました。

■ふくさき日本語ボランティアの会(ふくさき日本語サロン)

町内在住・在勤の外国人を対象に、日本語や生活習慣に関する学習を毎月2回、学習者のレベル別にグループ学習を行いました。4月25日(日)～6月13日(日)は感染症拡大防止のため、中止しました。

□効果・達成度

活動ができない団体もありましたが、“住みよいまちづくり”をめざして、ボランティア活動に熱心

に取り組んでいただき、こころ豊かなまちづくり・人づくりや美しい景観・コミュニティづくりが推進できました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H29	H30	R1	R2	R3	目標(R5)
日本語サロン受講者数（年間）	658	560	192	88	51	700

第2期総合戦略アクションプランK P I	H29	H30	R1	R2	R3	目標(R6)
日本語サロン平均受講者数（1回当たり）	27	25	9	4	3	30

□課題・改善

ふくさき日本語サロンでは、企業内での学習機会が増えたため、また、新型コロナウイルス感染症のため参加人数が減少しています。今後は、企業へ情報提供をするなど周知に努めます。

また、ボランティア会員の高齢化が進んでいるため、ボランティアの輪を広げて新規会員の加入促進に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳（単位:円）			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
329,000	220,239				220,239

1次評価：B

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
4. 社 会 教 育 費	2. 公 民 館 費	6,473,000 ^円	5,496,384 ^円	976,616 ^円

町民が主体的に学習したり、芸術文化に触れるための講座や教室を開講し、生涯学習の場を提供することを目的としています。

事業名／公民館運営事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	2 地域づくり	①地域コミュニティ活動への支援
総 ◆ 取 組 内 容	施設の開放、利用促進	
II 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	①芸術・文化活動の推進
総 ◆ 取 組 内 容	住民企画事業の実施	幅広い年代層が参加できる芸術・文化活動の展開
II 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	③クラブ活動・学習成果発表の場の充実
総 ◆ 取 組 内 容	誰もが学習できる場と機会の提供	学習成果発表の場の充実（公民館クラブなど）

◆事業内容(目的・必要性)

町内における各種文化活動やクラブ活動の活性化を図るとともに、地域住民に活動の場と交流の機会を提供するため、利用者のニーズに応じたよりよい施設運営を行うことを目的にしています。

◆事業の成果

■公民館クラブ活動

登録クラブ数及び人数

(令和3年4月1日現在)

登 録 会 場 名	登録クラブ数 (クラブ)	町内会員数 (人)	町外会員数 (人)	活動人数 (人)
文化センター 会 場	31	296	80	376
八千種研修 センター会 場	16	145	34	179
地 区 会 場	20	111	27	138
合 計	67	552	141	693

公民館クラブは町内で活動する文化クラブを対象とし、公民館クラブ連絡協議会（事務局：文化センター）に登録した団体で組織されています。各クラブとも熱心に取り組まれ、文化の高揚、研さんの場として施設を利用されました。

■文化功績賞

氏名	所属	分野	内容
尾崎 琴	町立高岡小学校2年生	ポスター	「令和3年度児童・生徒の交通安全ポスターコンクール」 兵庫県知事賞
藤原 茜	町立田原小学校1年生	ポスター	「令和3年度兵庫県歯・口の健康に関する図面・ポスターコンクール」教育長賞
上阪奈央	町立田原小学校6年生	絵画	「第17回全国こども絵画選抜展2021」審査員特別賞
千田順日	県立香寺高等学校2年生	美術工芸	「第45回兵庫県高等学校総合文化祭美術・工芸部門展」 特選
福崎西中学校 合唱部	町立福崎西中学校	合唱	「第74回全日本合唱コンクール全国大会中学校部門混声合唱の部」金賞

□効果・達成度

新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言の発令を受け、一時期、社会教育施設が臨時休館となりました。再開後も感染症拡大防止のため、夜間の開館時間が短縮されるなど、文化活動や地域交流が制限され、思うように事業の展開ができない期間もありましたが、感染症拡大防止対策を取りながら、施設運営を行いました。

□課題・改善

引き続き、感染症拡大防止対策を取った利用方法を周知徹底しながら、公民館クラブ会員の増加、活性化に向けて若年層の利用促進を支援していきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,707,000	1,158,121				1,158,121

事業名／老人大学事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化		7 芸術・文化、文化財	③クラブ活動・学習成果発表の場の充実
総	◆ 取 組 内 容	誰もが学習できる場と機会の提供	
Ⅳ 健康・医療・福祉		3 高齢者福祉	④生きがいつくりと社会参加の促進
総	◆ 取 組 内 容	活動の場の確保を支援（高齢者の自主的組織）	

◆事業内容(目的・必要性)

高齢者がともに学び語り合うことで、充実した生きがいのある生活を送るための基盤を確立するとともに、地域活動を実践していく指導者の養成を目的としています。

◆事業の成果

できるだけ多くの方々に学習していただけるよう、町内外を問わず学生を募集しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、5月～6月は臨時休講としましたが、7月からは感染防止対策を講じて講義を再開しました。

神崎学園と福寿学園の2学園制で運営しました。専門講座では、園芸(野菜・花き)・書道漢字・書道かな・手芸・舞踊・陶芸・史学・IT(入門編・応用編)の全8コースの講座を行いました。一般教養講座については、様々なジャンルの講演等を開催し、11月には老人大学祭を実施しました。

■受講生の推移(※令和2年度は中止)

(単位:人)

	30年度	元年度	3年度
神崎学園	101	122	112
福寿学園	199	196	175
合 計	300	318	287

□効果・達成度

老人大学を運営することにより、学習の場と交流の機会を提供し、生きがいづくり及び社会参加を促進しました。また、老人大学学生自治会による自主的なクラブ活動等も活発に行われました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H29	H30	R1	R2	R3	目標(R5)
老人大学受講者数	296	300	318	中止	287	360

□課題・改善

感染症拡大状況を見ながら感染防止対策を講じて講座を開講し、生きがいづくりの場の支援を行っていきます。また、受講生のニーズを調査し、専門講座の再編等を検討します。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,068,000	1,881,159			114,000	1,767,159

事業名/セミナー事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	③クラブ活動・学習成果発表の場の充実
総 ◆ 取 組 内 容	誰もが学習できる場と機会の提供	

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民が、こころ豊かで生きがいのある人生を送ることができるよう、サルビアセミナーを実施し、有益な知識や情報を提供することを目的としています。

◆事業の成果

■サルビアセミナー

開催回数: 5回(すべて公開講座)

受講生を募り、年間10回の講座等を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、5回の講座のみの実施となりました。

学習テーマ：「くらし生き活き！整理収納のきほん講座」「南極ってどんなところ？～越冬隊員から学ぶ南極授業～」 「日本のことばの歴史」「北条義時の生涯」「後藤又兵衛、その後」

□効果・達成度

実施できた講座の回数は半分となりましたが、受講生の知識習得や交流のための場を提供することができました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H29	H30	R1	R2	R3	目標(R5)
セミナー受講者数	178	174	174	中止	81	220

□課題・改善

感染症拡大状況を見ながら、感染防止対策を取って講座を開講していきます。アンケート調査等を実施し、講座内容の創意工夫に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
361,000	226,320			51,030	175,290

事業名／美術展事業

◆事業内容(目的・必要性)

美術展を開催し、優れた芸術作品に親しみ、地域住民の芸術文化への関心を高めることを目的としています。

◆事業の成果

□効果・達成度

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、やむなく第39回福崎町美術展を中止しました。日頃の創作活動の成果を発表する場、芸術文化を身近に鑑賞する機会を提供することができませんでした。

□課題・改善

会場の感染防止対策を講じて美術展を実施し、作品応募数及び来場者数が増えるよう、広報活動に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
189,000	131,376				131,376

事業名／文化振興事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	①芸術・文化活動の推進
総 ◆ 取 組 内 容	幅広い年代層が参加できる芸術・文化活動の展開	文化・芸術に触れる機会を創出

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民に優れた芸術文化に触れる機会を提供することを目的に、文化講演会を実施しました。

◆事業の成果

■文化講演会

日時：令和3年10月30日（土）

場所：メイン会場 文化センター大ホール、サブ会場 エルデホールメインホール

演題：「楽しい」から始まる学び

講師：伊沢拓司

入場者数：両会場合わせて約280人

□効果・達成度

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、聴講対象を町内在住者に限定し、事前申込制としました。そのような中でも、少しでも多くの方に聴講いただくために、エルデホールメインホールに講演の生中継会場を設けました。

事業を通して、地域住民の文化意識の高揚、文化交流を図ることができました。

□課題・改善

より多くの地域住民に関心をもってもらい、来場者が増えるように、内容を検討していきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,148,000	2,099,408	190,000			1,909,408

1次評価：A

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
4. 社 会 教 育 費	3. 図 書 館 費	49,119,000 ^円	48,590,868 ^円	528,132 ^円

図書や雑誌、視聴覚資料等のメディアや情報資料を収集、保管し、利用者への提供により、教養や地域研究、レクリエーション等に資することを目的とした図書館の管理・運営に要した経費です。

事業名／図書館管理事業

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民の学習・調査研究を行う情報拠点として、また、各種講座やイベント、ボランティア活動等を通した学習発表の場として、安全で快適に利用していただくため、適切な施設管理に努めました。

◆事業の成果

図書館をより長く、安全に安心して利用していただけるよう、施設等の維持補修等を実施しました。主な修理箇所は次のとおりです。

- ・返却ポスト照明器具取替 (27,500円)
- ・公用車エンジンオイル・オイルエレメント交換 (15,750円)

□効果・達成度

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために4月25日～5月11日まで館内閲覧・自習を中止していましたが、その後は通常通り開館しました。

施設や設備については、定期点検等の実施により、安全安心な施設管理に努めています。

□課題・改善

開館から15年以上経過し、施設も館内各設備も補修を要する箇所が増えていきます。それらを早期に見し、修繕をすることで、施設の耐久性を高める必要があります。定期的な見回り、点検、補修を継続

して実施することで、安心して利用できる施設をめざします。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10,414,000	10,026,603			5,460	10,021,143

事業名／図書館運営事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施 策	町の取り組み
創 行	I 地域づくり・行政	2 効率的で効果的な行政運営	②行政サービスの向上
	◆ 取 組 内 容	図書館の相互利用促進（播磨圏域連携中枢都市圏）	
総	II 教育・文化	5 生涯学習	②情報提供の充実
	◆ 取 組 内 容	イベントの実施、蔵書構成	

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民の自主学習を支え、ニーズに応じた情報提供を行うため、資料の整備や図書館広報・読書推進のための行事等を行いました。

◆事業の成果

図書館を知るきっかけとなるイベントの実施により、図書館を身近に感じ、そのイベントをきっかけに継続した図書館利用につながられるよう、来館時にふと目に入る場所に手に取ってみたいとなる本を展示する等、本の配架に工夫することで、読書環境の整備に努めました。

■子ども向け行事

たなばた会

図書館夏休みイベント おみせやさん！

図書館おばけやしき

どこまでとぶかな？かみひこうき ①おる・②とばす

クリスマスおたのしみ会

クリスマス準備！工作教室

図書館であそぼ会

図書館マイスター講座

■大人向け行事

キャンドルナイト

ストーリーテリング講座

■図書館応援隊に対し、補助金を交付し、活動を助成しました。（200,000円）

■貸出冊数・貸出人数

	貸出人数(人)	貸出点数(点)	年度末登録者数(人)
令和元年度	43,451	218,360	18,061
令和2年度	39,578	204,302	18,742
令和3年度	45,036	234,643	19,336

□効果・達成度

令和3年度末の蔵書点数は、159,302点となりました。

図書館の利用については、外出自粛が続いたことで、家で過ごす時間が増えたため、貸出点数は平成17年の開館以来、2番目に多くなりました。

子どもの読書活動推進については、まだ新型コロナウイルス感染症の影響で学校訪問や図書館見学が

実施できない小学校もあり、図書館へ来館するきっかけづくりができませんでした。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H29	H30	R1	R2	R3	目標(R5)
図書館貸出人数	46,224	46,748	43,451	39,578	45,036	50,000
第2期総合戦略アクションプランKPI	第1期(H27～R1)実績			R2	R3	目標(R2～R6)
図書館町外登録者数(累計)	4,437人(目標:4,200人)			427	806	2,000

□課題・改善

学校からの図書館見学を契機に、図書館利用につながっているため、引き続き学校との連携を図り、本に触れる機会を増やし、子どもの読書活動を推進していきます。

町内在住者の利用が減少傾向にあります。自宅で過ごす時間が増え、新たな趣味を見つけたり、読書をしたりする人が増えている今、図書館には様々な分野の本があることや図書館の活用方法等を知ってもらい、新たな利用につなげられるよう改めて町内在住者に向けての広報に努めます。また継続した利用をしてもらうため、定期的特集棚を入れ替えることで、常に目新しさのある図書館づくりに努めます。

予算額	決算額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
22,987,000	22,853,099			100,000	22,753,099

1次評価：B

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4.社会教育費	4.文化センター管理費	34,865,000 ^円	34,307,615 ^円	557,385 ^円

町民はもちろんのこと、町外の方々にも多く利用され、社会教育及び生涯学習の拠点として重要な役割を果たしている文化センターの管理・運営に要した経費です。

事業名／文化センター管理事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	2 地域づくり	①地域コミュニティ活動への支援
◆ 取組内容	施設の開放、利用促進	

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民の文化意識の向上を図るため、学習活動、文化活動、ボランティア活動等の拠点である文化センターの効率的な管理運営を目的としています。

◆事業の成果

■施設の維持補修

令和3年度は、南側駐車場水銀灯取替工事(407,000円)、講義室他雨漏り修繕工事(154,000円)、大ホール舞台段手すり設置工事(138,600円)等を行いました。また、施設利用者にWi-Fiをご利用いただけるように、LAN配線工事等を実施しました。

■文化広報誌

「文化センターだより」「福崎町文化第38号」を刊行し、各戸配布しました。

■文化センターの利用状況

	有料及び無料使用件数					使用料 (円)	使用者数 (人)
	有料 (件)	無料 (件)			合計 (件)		
		町関係他	公民館	教委			
令和元年度	319	175	704	401	1,599	901,528	31,547
令和2年度	398	122	605	252	1,377	917,580	17,089
令和3年度	309	180	472	407	1,368	914,560	20,003

□効果・達成度

新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言の発令を受け、一時期、臨時休館としたり、夜間の利用時間を制限しながらの開館となりました。また、手指消毒液や体温計を設置し、利用定員を減らしたり、座席間の確保等の対策を呼びかけながら利用いただきました。

利用頻度や緊急性を考慮しながら適切な補修を行い、施設の安全管理に努めました。

□課題・改善

施設の老朽化が進み、抜本的な施設改修が必要となってきました。利用者が高齢化していることもあり、安全面や利便性の向上を最優先に検討していきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10,135,000	9,810,359		300,000	914,560	8,595,799

1 次評価 : B

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
4. 社 会 教 育 費	5. エルデホール 運 営 費	79,999,000 円	79,115,971 円	883,029 円

地域住民の自由な創造活動を促進し、地域の振興と文化の発展を図るため、芸術・文化活動の場として貸館を行い、また自主公演事業を実施しました。施設の運営、管理に要した経費です。

事業名／エルデホール管理事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
1 地域づくり・行政	2 地域づくり	①地域コミュニティ活動への支援
総 ◆ 取 組 内 容	施設の開放、利用促進	

◆事業内容(目的・必要性)

エルデホールは隣接した施設とともに文化、地域振興の拠点としての役割を担っています。施設及び設備の利用を通して地域住民により高い水準の文化活動の場を提供するため、地域住民が安心して利用できる施設となるよう施設の管理運営を行いました。

◆事業の成果

貸館事業としては、講演会・講習会・ピアノ等発表会、各種展示・販売、会議、各種パーティー、屋外イベント等、多種多様に活用されました。

■利用状況

年度			メインホール	イベントホール	洋 室	スタジオ	ホワイエ	屋外舞台
R1年度	開館日数 205	利用日数(日)	128	114	136	92	80	12
		稼働率(%)	62.44	55.61	66.34	44.88	39.02	5.85
R2年度	開館日数 272	利用日数(日)	90	84	104	60	45	10
		稼働率(%)	33.09	30.88	38.24	22.06	16.54	3.68
R3年度	開館日数 296	利用日数(日)	176	143	138	78	100	10
		稼働率(%)	59.46	48.31	46.62	26.35	33.78	3.38

※稼働率＝利用日数／開館日数

利用日数は利用のあった日数。1日に複数の利用者があっても1としています。

年度	貸館使用料収入	使用回数	利用者数
R1年度	2,202,923円	615回	31,923人
R2年度	1,458,930円	395回	16,108人
R3年度	1,701,840円	667回	62,095人

■主な施設及び設備改修・修繕費等

開館から30年近くが経過し、施設や設備に故障・劣化が生じています。利用者に影響を及ぼす箇所を優先し平成28年度から徐々に修繕・更新を図っています。

令和3年度は、メインホールの舞台照明設備改修(24,200,000円)、イベントホール照明設備改修(6,930,000円)およびホワイエ照明設備改修(566,000円)の3件を、地方債を借り入れて行いました。

また、主な施設及び設備改修・修繕費に係る経費は次のとおりです。

- ・エルデホールスタジオスピーカー更新(497,200円)
- ・ホワイエ タイル張り替え及び点字ブロック補修(297,000円)
- ・1F男子トイレ小便器自動洗浄システム取替(199,157円)

□効果・達成度

老朽化し、利用に不具合を生じていた設備を一新し、利便性が大きく向上しました。

イベントホールを調光卓操作から電気設備化したことで消灯含む光量調整を利用者自身で操作可能になり、無人状態での点灯時間も軽減されました。保守点検費用も不要となり経費の削減につながりました。

□課題・改善

施設の老朽化により、修繕の必要箇所が増えてきています。また耐用年数が過ぎている機器などが多く、安全面や運営面からも更新が必要となっています。緊急を要する箇所を洗い出し計画的に修繕や更新を行います。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
55,765,000	55,342,716		28,700,000	2,038,770	24,603,946

事業名／エルデホール自主公演事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	①芸術・文化活動の推進
総 ◆ 取 組 内 容	幅広い年代層が参加できる芸術・文化活動の展開	文化・芸術に触れる機会を創出

◆事業内容(目的・必要性)

公演を通じて、地域住民に人生の生きがいと楽しみを提供できる機会をつくることを目的に、自主事業を実施しました。事業は、地域の参加者が多い事業、住民の要望に基づく事業、若者文化の掘り起こし事業等、テーマ別に実施しました。

◆事業の成果

■自主事業実施状況

地域文化の振興と、文化・芸術への興味や知識を深めていただくために5回の自主公演事業(うち1回は2部制)と1回のミニイベント(ピアノ弾き放題)を実施しました。これに伴う入場料収入の合計は3,886,400円でした。

・自主事業一覧

実 施 日	内 容	人数 (人)
8月22日(日)	エルデサマーコンサート フレッシュアーティストジョイントコンサート	284
11月13日(土)	アニソンスリーライブ in 福崎町エルデホール	300
12月18日(土)	エルデクリスマスコンサート ジュスカ・グランパールコンサート～音のめぐみ～	300
1月22日(土)	福崎特別公演 丘みどりコンサート	602
2月11日(金、祝)	林家たい平落語会	254
計		1,740

□効果・達成度

令和3年度は自主事業を5回行いました。そのうち、丘みどりコンサートについては昼・夜の2部制で実施しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全公演において立見席の販売はしませんでした。年間集客人数は前年度比328.30%と大幅な増となりました。丘みどりコンサートは数日で即完売、アニソンスリーライブもSNSを効果的に宣伝媒体として用い、こちらも早々に完売に至りました。また、クリスマスコンサートは全国大会2位の福崎西中学校合唱部との共演で大きな話題となりました。サマーコンサートと林家たい平落語会は完売には至りませんでしたが、これはいずれも新型コロナウイルス感染症が急速に感染拡大したことによるキャンセルの受付と券売中止が主な理由です。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H29	H30	R1	R2	R3	目標(R5)
自主公演事業平均入場者数	282	294	150	133	290	300

□課題・改善

新型コロナウイルス感染症による制約を随所に受けながらではありますが、入場者数を大幅に回復させることに成功しました。今後も引き続き、人々の生きる活力となるような自主事業を企画、広報し、多くの方にご来場いただけるよう努めます。また、令和3年度は文化庁と兵庫県芸術文化協会から約407万円の助成を受けることができました。今後も様々な助成制度を活用しながら文化啓蒙を推進していきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10,964,000	10,513,679	3,053,000		4,896,240	2,564,439

1次評価：B

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4. 社会教育費	6. 研修センター運営費	6,889,000 円	6,547,080 円	341,920 円

文化センター（中央公民館）の分館で、社会教育及び生涯学習の拠点として重要な役割を果たしている八千種研修センターの管理・運営に要した経費です。

事業名／研修センター管理事業

◆事業内容(目的・必要性)

地域文化の向上、研さんの場として、利用者に安全で快適に利用していただくため、適切な管理・運営を行うことを目的にしています。

◆事業の成果

■施設の維持補修

令和3年度は、施設の維持補修として、2階女子トイレ汚物流し排水器具取替（84,150円）、Wi-Fiルーターハブ入替（4,400円）を実施しました。

■利用状況

	使用件数(件)	使用人数(人)	使用料(円)	貸出図書数(冊)
令和元年度	794 (116)	9,368	23,410	790
令和2年度	592 (76)	6,345	17,050	793
令和3年度	659 (173)	6,947	132,480	903

第36回八千種研修センターまつりは、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、規模を縮小して、10月16日(土)・17日(日)に実施し、当センターを利用している各種活動団体が日頃の活動の成果を発表しました。

□効果・達成度

公民館クラブや各種活動団体の地域文化活動の拠点として、活動の場や交流の機会を提供しました。

□課題・改善

令和4年度は、小規模な施設改修及び施設の保安全管理を進めます。

予算額	決算額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
3,272,000	2,932,658			132,480	2,800,178

1次評価：B

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4. 社会教育費	7. 青少年野外活動センター費	8,592,000 円	7,479,930 円	1,112,070 円

青少年健全育成施設としての野外活動センターの管理に要した経費です。

事業名／青少年野外活動センター管理事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	② 青少年の健全育成の推進
総◆ 取組内容	多彩な学習機会の提供	

◆事業内容(目的・必要性)

野外活動を通じて、青少年の健全育成を図り、また、地域住民に自然にふれる機会や交流の場を提供するため、安全快適な施設管理を行いました。

◆事業の成果

■主な施設修繕料

- ・街路灯LED化業務(5式) 1,408,000円 (請負業者:(有)溝内電工)
- ・管理棟ホールエアコン更新 715,000円 (請負業者:(有)上月電設)

■主な委託料

- ・清掃委託料 192,450円 (請負業者:(株)三創、田口区)
- ・警備委託料 142,296円 (請負業者:セコム(株)加西営業所)
- ・電気設備管理委託料 175,560円 (請負業者:小國電気設備管理事務所)

■利用状況

(単位:円)

年度	施設利用者数 (人)	利用 団体数	施設利用料	山小屋	テント	テント サイト	食器類	管理棟・ 多目的ホール	シャワー	その他 (シーツ)	合計
平成30年度	6,311	331	975,340	100,200	59,950	31,710	21,650	2,390	80,400	0	1,271,640
令和元年度	8,378	419	1,093,635	128,100	53,560	43,470	38,000	4,590	113,600	0	1,474,955
令和2年度	3,747	389	706,530	58,560	7,700	146,300	12,950	1,650	67,800	63,120	1,064,610
令和3年度	4,144	428	778,140	50,560	6,600	247,500	6,750	6,950	39,600	53,040	1,110,370

※利用者は延べ人数で集計しています。

□効果・達成度

青少年野外活動センターは、自然に親しみながら友愛と協力の心を育て、青少年の健全育成を図ることを目的にした施設として利用者に定着しています。

□課題・改善

青少年野外活動センターは、近くに七種の滝、つなぎ岩、金剛城寺などがあり、1年を通して自然の景観に優れています。町内外の青少年健全育成団体に利用いただけるよう、今後も利用者の安全を図るための取り組みを継続していきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8,592,000	7,479,930		1,900,000	1,110,370	4,469,560

1次評価:A

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4.社会教育費	8.人権教育振興費	4,144,000 ^円	3,605,591 ^円	538,409 ^円

人権問題も多様化・複雑化しているなか、新たに新型コロナウイルス感染症に関連した不当な差別や人権侵害が問題となりました。

日常生活の中で人権尊重を自然に態度や行動として表わすことが文化として定着している社会をめざして、人権について一層理解を深めていただくため、自治会研修会をはじめ、家庭や学校において研修を行い、人権意識の高揚を図りました。

また、男女がお互いの人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮し、いきいきと暮らすことができる男女共同参画社会の実現をめざすため、「福崎町男女共同参画基本計画」に基づく事業の推進を行いました。

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	1 参画と協働	④男女共同参画社会の実現
総 ◆ 取 組 内 容	男女共同参画社会の形成に向けた各種施策の推進 チャレンジする女性への支援	関係機関との連携、啓発活動の推進
I 地域づくり・行政	1 参画・協働と透明性の向上	②住民参画による協働のまちづくりの推進
行 ◆ 取 組 内 容	女性活躍の推進	

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H29	H30	R1	R2	R3	目標(R5)
各種委員会等への女性委員登用率	33.0%	31.9%	31.3%	31.7%	31.7%	33.0%

(第6次行政改革実施計画：令和7年度目標 37.0%)

事業名／人権教育振興事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
II 教育・文化	6 人権教育	①人権教育・啓発の推進
総 ◆ 取 組 内 容	自治会研修会の開催	人権フェスティバルの開催

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民等の人権意識高揚を図るため、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、自治会研修会を実施するとともに、人権・青少年健全育成フェスティバルでは、小中学校の主張体験発表及び講演会を行いました。

男女共同参画社会実現のため、「福崎町男女共同参画基本計画」に基づき、男女共同参画の周知、啓発を図りました。

◆事業の成果

■研修会の開催及び講演会の参加

- 自治会単位人権・青少年健全育成研修会

17自治会が実施 啓発DVD視聴・講話 参加者：415人

- 人権青少年健全育成フェスティバルの開催

令和3年12月4日(土) 福崎町文化センター 参加者：182人

小中学生の主張体験発表

講演：演題「ひきこもり・8050問題と介護問題は切り離せない」

講師 ノンフィクション・ライター 中澤まゆみ さん

■福崎町男女共同参画の推進

- 国の男女共同参画週間にあわせて広報掲載、図書館に男女共同参画に関する図書コーナー設置
- 国の男女共同参画週間にあわせて講演会開催

講演：演題「くらし生き生き！整理収納のきほん講座」 参加者：52人

講師 整理収納コンサルタント 笹田 奈美子 さん

■負担金

- 神崎郡人権教育研究協議会負担金 191,000円
- 神崎郡人権問題対策協議会負担金 172,000円
- 神崎郡民主化推進連絡協議会負担金 57,000円

- ・（公財）人権教育啓発推進センター年会費 20,000円

■補助金

- ・自治会単位研修会補助金 412,000円
- ・福崎町民主化推進協議会運営補助金 320,000円

□効果・達成度

新型コロナウイルス感染症拡大による影響で開催が難しい状況のなか、自治会研修会及び人権青少年健全育成フェスティバルを行うことにより、「相手を正しく知り、お互いを認め合うことが人権課題の解決につながる」ということを学んでいただくことができました。

また、改訂した男女共同参画基本計画に基づく事業を実施し、男女共同参画社会の実現に寄与することができました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H29	H30	R1	R2	R3	目標(R5)
自治会単位研修会への参加者数	1,065	1,038	960	198	415	1,300
第2期総合戦略アクションプランKPI	H29	H30	R1	R2	R3	目標(R6)
女性の働き方セミナー受講者数	3	9	13	8	8	10

□課題・改善

自治会研修会への参加者数は平成29年度以降減少傾向にあるため、引き続き、自治会をはじめ、家庭や学校と連携し、人権教育・啓発活動に努め、日常生活において態度や行動に現れるような人権感覚の育成に取り組みます。改定した男女共同参画基本計画に基づき、男女共同参画社会の実現に向けて取り組みを推進します。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,657,000	1,362,546				1,362,546

事業名／人権啓発事業

◆事業内容(目的・必要性)

人権意識高揚のため、県の「人権文化をすすめる県民運動」の趣旨に基づき実施する啓発事業で、県の補助事業です。また、新型コロナウイルス感染症に関する誤解や偏見の防止チラシを学校・家庭に配布し、啓発活動に取り組みました。

◆事業の成果

■福崎町人権・青少年健全育成フェスティバル

令和3年12月4日（土） 文化センター 大ホール 参加者：182人

- ・体験発表 小中学生
- ・講演 演題：「ひきこもり・8050問題と介護問題は切り離せない」
講師：ノンフィクションライター 中澤 まゆみ さん
- ・展示 人権意識高揚活動記録、人権ポスター・人権標語

■人権啓発冊子

- ・「豊かな心がふれあう活力ある福崎町を目指して」作成・全戸配布 6,500部 298,100円
- ・「元気UPじんけん」 成人式配布 200部 20,000円

■啓発DVDの購入

- ・「夕焼け」 66,000円

□効果・達成度

多くの方々の人権意識を高め、人権問題に対する理解を深めることができました。

□課題・改善

多くの方々があらゆる人権問題に関心を持つことができるよう、また、家族間で人権意識を高める会話のきっかけとなるよう、今後も継続してフェスティバルを開催します。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
867,000	845,105	249,000			596,105

事業名／人権意識高揚（心の教育）活動委託事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施 策	町の取り組み
	Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	②青少年の健全育成の推進
総	◆ 取 組 内 容	インターネット上での危険未然防止(普及啓発、研修会)	
	Ⅱ 教育・文化	6 人権教育	①人権教育・啓発の推進
総	◆ 取 組 内 容	いじめをなくす人権意識の高揚	豊かな人間性が育まれる教育の推進

◆事業内容(目的・必要性)

児童・生徒一人ひとりが、互いの人権を重んじ、あたたかく支え合い、生きがいと希望を持つとともに子どもたちの自立を促し、「豊かな心と生きる力」を育むことを目的に各種事業を実施しました。

◆事業の成果

子どもたちがその発達段階に応じ、人権尊重の理念に対する理解を深め、これを体得するには、多様な機会の提供、効果的な人権学習が必要です。人権学習（インターネットによる人権侵害についての学習等）を含め、地域交流や郷土愛育成等の事業を展開するための各小中学校への委託事業です。

□効果・達成度

新型コロナウイルス感染症の影響で計画通りとはいきませんでした。対策を施しながら、車いす体験、アイマスク体験、人権に関する講演会など各種事業に取り組んでいただきました。身近な人権課題解決のためのグループ討議や講話による学習や清掃ボランティア活動などを通じて、子どもたちの互いの人権を重んじ、「豊かな心と生きる力」を育むことができました。

□課題・改善

今後も適正に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,620,000	1,397,940				1,397,940

1次評価：A

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4.社会教育費	9. 辻川界限文化振興費	35,682,000 円	32,656,145 円	3,025,855 円

辻川界限の文化振興及び文化施設の管理・運営に要した経費で、主な事業としては、歴史民俗資料館、柳田國男・松岡家記念館の運営、三木家住宅の管理、第42回山桃忌の開催です。

総合計画**後期基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施策	町の取り組み
総創	II 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	③「民俗学のふるさと」づくりの推進
	◆ 取組内容	三木家住宅（副屋他）の積極的な保存・活用	地域資源の有効活用、魅力発信
総創	V 産業振興	3 観光	①観光資源の発掘・育成・活用
	◆ 取組内容	三木家住宅、旧辻川郵便局などの文化財の新しい活用	
総創	V 産業振興	3 観光	②魅力ある観光の推進
	◆ 取組内容	官民連携による文化と観光のまちづくりを推進	
総	VI まちの基盤	4 公園・緑地	①公園・緑地の整備・拡充等
	◆ 取組内容	辻川山周辺全体を歴史・文化・観光拠点として整備	

事業名／歴史民俗資料館運営事業

◆事業内容(目的・必要性)

郷土資料（出土品、古文書、民俗資料、行政資料等）を収集保存し一般に公開するため、各種事業を実施しました。

◆事業の成果

■展示活動

歴史民俗資料館の建物は、明治19年に神東・神西郡役所として建てられてから135年が経ちました。節目となる年に、建物の役割の変遷や当時の様子などを紹介した企画展を開催しました。

会 期	名 称	入館者数	備 考
4月24日～5月30日	企画展「築135年のあゆみ」	523人	展示点数 104点
10月23日～12月5日	特別展「れきみに眠る蔵書の世界」	1,645人	展示点数 194点
2月5日～4月10日	企画展「令和2年度埋蔵文化財発掘調査速報展」	1,518人	展示点数 75点

■資料収集

郷土資料を収集しました。令和3年度は、10名の方から民具・文書等153点を寄贈いただきました。

■教育普及活動

- ・ふくさき歴史体験隊 隊員数25名

地域の歴史や文化財を活用した活動として、辻川界限における柳田國男の足跡めぐりをはじめ、まが玉づくりや布ぞうりづくり等を行い、指導者等さまざまな年齢層の方との交流を図ることができました。

- ・連続講座「福崎町の民俗」

本講座では、鍛冶屋区の民俗行事「かくしほちよじ」が県文化財に指定されたことを記念し、福崎町の民俗行事について理解していただく機会を提供しました。

- 入館者数 8,533 人（令和2年度 10,436 人、令和元年度 12,774 人）

□効果・達成度

年間を通じて、企画展や連続講座、ふくさき歴史体験隊事業等を実施し、幅広い年代層に郷土の歴史

や文化を学ぶ機会を提供することができました。

□課題・改善

これまで蓄積された収蔵資料の保管や整理に継続して取り組み、資料の活用が充実するよう努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5,296,000	4,317,281				4,317,281

事業名／柳田國男・松岡家記念館管理事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	④先人の功績の顕彰
総 ◆ 取 組 内 容	柳田國男・松岡家記念館リニューアル改修	

◆事業内容(目的・必要性)

日本民俗学の創始者である柳田國男と松岡家の業績を顕彰するため、関連する資料を収集、保存し、柳田國男生家とともに一般に公開しました。

来館者が快適に利用できるよう老朽化した施設の環境改善に努め、柳田國男や松岡家に関する資料の保全、活用に継続して取り組みました。

◆事業の成果

■資料収集・資料整理

柳田國男・松岡家ゆかりの資料を収集しました。令和3年度は1名の方から松岡静雄著『南溟の秘密』直筆原稿1点の寄贈をいただきました。

■松岡映丘画稿補修委託

委託料：489,060円（受託業者：糊工房レストア）

作品9点 「とりかご・女」「笛吹」「屋敷」「牛車」「御大典」「舟」「扇面（天平婦人）」
「玄関/鶏を持つ男」「鷹狩」

■講演会

「生誕140年記念 松岡映丘、自作を語る」 11月20日（土）

講師：石井正己氏 参加者：18人

■入館者数9,823人（令和2年度12,495人、令和元年度13,000人）

□効果・達成度

開館45年以上を経過した記念館や生家については、日々の施設点検・記録を行い、不具合箇所等の早期発見、対処等、施設の安全性・利便性改善に努めました。資料補修では、松岡映丘画稿の裏打ち等を行い、資料保全を図りました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H29	H30	R1	R2	R3	目標(R5)
柳田國男・松岡家記念館入館者数	14,974	14,059	13,000	12,495	9,823	16,000

□課題・改善

老朽化した施設の環境改善、展示を含めた施設リニューアルが必要です。また、資料保全においては、松岡映丘画稿の補修を継続して行い、管理や展示活用の充実に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5,581,000	4,911,557			489,000	4,422,557

事業名／柳田國男・松岡家記念館運営事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化		7 芸術・文化、文化財	④先人の功績の顕彰
総◆	取 組 内 容	名誉町民の顕彰を推進	友好都市である遠野市との交流促進

◆事業内容(目的・必要性)

柳田國男と松岡家の業績を顕彰するため、各種事業を実施しました。第42回山桃忌、松岡映丘生誕140年記念展を実施しました。第8回柳田國男検定では、上級編の最高得点者に「遠野への旅」を贈りました。教育普及活動では、伊勢大神楽は新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮して中止しましたが、版画教室は開催しました。

◆事業の成果

■第42回山桃忌

8月1日(日)

「沖縄の民俗芸能披露」参加者：201人

内容：「沖縄の民俗芸能」解説 柳田國男・松岡家記念館顧問、東京学芸大学教授 石井正己
民俗芸能披露

- ・琉球舞踊 玉城流扇寿会関西尼崎支部 伊与木廣子琉舞道場
- ・沖縄民謡 きよむら三線会

8月15日(日)よりWEB配信

「柳田國男と「海上の道」」視聴者：140人

内容：山桃忌 式典

基調講演 「「海上の道」再考」柳田國男・松岡家記念館顧問、東京学芸大学教授 石井正己

記念講演 「柳田國男が活性化した八重山の芸能」 沖縄国際大学名誉教授 猪俣恵一

シンポジウム 「柳田國男と「海上の道」」

コーディネーター：石井正己

パネリスト：鹿児島大学名誉教授 長嶋俊介

東京学芸大学教授 橋村修

僧侶・俳人 松岡秀隆

■第8回柳田國男検定(初級編、中級編、上級編)

実施日：8月1日(日)

受検者数：初級編21人、中級編7人、上級編8人

合格者数：初級編15人、中級編5人、上級編2人

■展示活動

会 期	名 称	入館者数	備 考
4月3日～5月30日	企画展「松岡映丘画稿展～令和3年の干支“丑”～」	1,017人	展示点数 7点
10月2日～11月28日	記念展「松岡映丘展～近代大和絵の導き手～」	2,424人	展示点数 102点
10月23日～12月5日	「福崎町子どもふるさと展」	1,930人	展示点数 62点

■教育普及活動

- ・伊勢大神楽 中止
- ・岩田健三郎版画教室 12月5日（日）講師：岩田健三郎 参加者：19人

■第9回福崎町柳田國男ふるさと賞

柳田國男の顕彰を図るとともに、郷土に愛着と誇りを持ってもらうことを目的として、地域の歴史や民俗文化について優れた調査・研究を行った児童・生徒に対して、この賞を贈りました。

- ・小学校低学年の部
西牧宗佑（田原小学校4年生） 作品名「絶景 春日山城」
- ・小学校高学年の部
田畑駿（田原小学校6年生） 作品名「田原地区の小字について」
- ・中学校の部
岡本祝子（福崎西中学校2年生） 作品名「新町天満宮について」

■日本民俗学会研究奨励賞の副賞

令和3年度受賞作品「知多半島「朝倉の梯子獅子」の戦後における伝承の変容—文字メディアの影響に注目して—」 牧野由佳

■館報「うぶすな」発行（7,000部）

□効果・達成度

山桃忌、柳田國男検定、企画展、記念展、ふるさと賞等、年間を通じて顕彰事業に取り組み、「柳田國男生誕の地 福崎町」を町内外に発信し、松岡五兄弟への理解を深めることができました。

□課題・改善

柳田國男・松岡家の功績を、幅広い世代が再認識できる分かりやすい催しや展示手法を引き続き研究します。「柳田國男生誕の地」の認知度を高めるため、さらに情報発信を工夫し誘客に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 （単位：円）			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4,505,000	3,904,917	500,000		800,000	2,604,917

事業名／三木家住宅等管理事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	③「民俗学のふるさと」づくりの推進	
総 創	◆ 取 組 内 容	三木家住宅（主屋）の文化交流活動拠点としての活用	三木家住宅（副屋他）の積極的な保存・活用

◆事業内容(目的・必要性)

平成22年度から進めてきた主屋に関連する保存修理工事の終了により、三木家住宅を活用していくため、平成29年度から主屋部分を展示施設として一般公開を行っています。三木家の歴史や魅力を来館者に伝えるため、公開イベントを実施しました。三木家住宅資料の保存活用のため、神戸大学大学院人文学研究科

との共同研究による資料調査を実施しました。

主屋以外の部分の指定管理者による活用が開始されたことにより、三木家住宅内蔵等に保管されていた貴重な資料を適切に保管・管理するとともに、展示も可能な展示兼収蔵施設を令和2年度に三木家住宅の東側に整備し、本年度から利用を開始しました。資料の収蔵を進めるとともに、実際に資料に触ることができる住民向け資料保存ワークショップ等を開催しました。

◆事業の成果

■主屋公開事業

■三木家住宅主屋公開イベント

実施日	内 容	講 師	参加者 (人)
4月24日(土) ～5月30日(日)	企画展「わが家の五月人形展」	—	216
7月10日(土)	手づくり講習会「三木家de風鈴づくり」	—	96
7月10日(土) ～8月22日(日)	企画展「手づくり風鈴展」	—	719
10月30日(土) ～11月30日(火)	特別展示「大庄屋三木家と冠婚葬祭 三木家の婚礼」	(展示点数 25点)	1,234
11月3日(水・祝)	三木家入門講座⑤ 「三木通深の結婚」	神戸大学大学院 人文学研究科 井上 舞	30
12月12日(日)	手づくり講習会「まつぼっくり・ツノナス工作」	—	67
2月11日(金・祝) ～3月21日(月・祝)	企画展「わが家の雛人形展」	—	622

■三木家資料保存体験型講座

三木家資料保存ワークショップ「下張り文書はがし作業」(4回)

7月3日(土) 参加者5人 11月6日(土) 参加者10人 1月8日(土) 参加者8人
3月5日(土) 参加者9人

■画稿等補修委託

委託料：176,990円(受託業者：榊工房レストア)

資料3点 「三木拙二宛柳田國男葉書」「絵本勇者車」「三木通深山水図」

■開館日数・入館者数

開館日数 127日 入館者数 5,197人

□効果・達成度

四季に応じた展示、講習会等を実施し、多くの見学者を得て、文化財保護意識を醸成することができました。また、資料調査の成果を活用した特別展示を実施することで辻川界限への来訪の機会を高め、住民とともに資料整理を行うことで文化財への興味関心を高めました。

□めざそう値

第2期総合戦略アクションプランKPI	H29	H30	R1	R2	R3	目標(R6)
宿泊者数(三木家住宅、歴史・文化館)	—	—	—	546	623	2,000

□課題・改善

指定管理者等と連携して、まちの歴史を伝える文化財として三木家住宅の保存を図りつつ、来訪者の

興味・関心を高める展示やイベントの充実に努めます。展示兼収蔵施設に収蔵できなかった資料を適切に保管・継承していくための収蔵場所が必要です。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6,247,000	5,571,115			1,453,000	4,118,115

事業名／歴史・文化館管理事業

◆事業内容(目的・必要性)

歴史・文化館の管理にかかる費用です。

◆事業の成果

■ 歴史・文化館の建物共済保険加入及びエレベーター点検を実施しました。

□効果・達成度

歴史・文化館の適正管理に寄与しました。

□課題・改善

今後も施設の適正管理に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
201,000	200,459				200,459

事業名／辻川界隈文化振興事業

◆事業内容(目的・必要性)

辻川界隈の活性化のため、文化財の保護及び観光振興に継続して取り組むとともに、地域の環境美化に努めました。

◆事業の成果

■ 松岡五兄弟石像及び短歌祭掲示板のモニュメント保険、望郷の丘の建物共済保険に継続加入及び、環境美化の取組として草刈りなどを行いました。

□効果・達成度

辻川界隈の観光振興に寄与しました。

□課題・改善

辻川界隈の活性化に向けた検討を進める必要があります。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,347,000	1,248,234				1,248,234

1 次評価 : B

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
4. 社 会 教 育 費	10. 文化財保護費	55,895,000 円	54,783,078 円	1,111,922 円

文化財保護に要した経費で、主な事業は、指定文化財等の助成、埋蔵文化財発掘調査、文化財保存活用地域計画の作成です。

事業名／文化財保護一般事務費

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	②文化財の保護・活用の推進
総 ◆ 取 組 内 容	文化財調査の実施、調査成果の公開	収蔵施設の整備（文化財、郷土資料等の保存・展示）
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	③「民俗学のふるさと」づくりの推進
総創 ◆ 取 組 内 容	三木家住宅、旧辻川郵便局の新たな活用	
Ⅵ まちの基盤	4 公園・緑地	②緑化の推進
総 ◆ 取 組 内 容	神社仏閣、境内地樹木等緑地の景観保全	

◆事業内容(目的・必要性)

町指定文化財保存補助金を6団体に交付しています（今年度は中止の団体があるため4団体のみに交付）。また、県指定文化財保存補助金を2団体に交付しています。

神戸大学大学院人文学研究科との地域連携事業では、記念館・歴史民俗資料館において展示や資料整理の指導助言や、松岡家に関する資料調査も継続して行いました。令和3年度は松岡映丘生誕140年に際し、映丘に関する資料収集・分析の成果を記念展や広報誌等で広く町民に発信しました。また、地域資料の保全、活用のため、調査・整理を継続して行いました。

文化財審議委員会を組織し、文化財行政について専門的な立場から審議いただきました。

◆事業の成果

■町指定文化財保存補助金

法成就講（高橋）・大塚古墳（山崎）・相山古墳（西大貫）・神谷古墳（醫王寺）

■県指定文化財保存補助金

かくしほちょじ（鍛冶屋）・妙徳山古墳（神積寺）

■文化財審議委員会

第1回：令和3年7月16日（金） 第2回：令和4年2月4日（金）

□効果・達成度

町指定文化財保存継承事業等に補助金を交付することで、文化財保護活動の促進を図りました。

神戸大学大学院人文学研究科との地域連携事業では、令和3年度の松岡映丘生誕140年に向けた映丘に関する資料収集・分析を進めました。三木家住宅ふすま下張り文書の保存処理や整理作業を住民の方と共に進めるためのワークショップを開催し指導いただくとともに、地域所在資料の調査・整理を継続して行いました。また、松岡家に関する資料調査を継続して行い、調査成果は広報誌等で広く町民に発信しました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H29	H30	R1	R2	R3	目標(R5)
文化財の指定件数	46	46	46	47	47	47

□課題・改善

地域所在資料を広く地域住民に知ってもらい保存・継承につなげるため、引き続き住民と協働した資料整理・展示会の企画など継続した取り組みが必要です。

住民に文化財の重要性を認識していただくため、文化財に関する展示活動や広報活動を充実させます。文化財や郷土資料を保存継承していくため、適切な保存環境を備えた収蔵施設の整備が必要です。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,343,000	2,105,601				2,105,601

事業名／埋蔵文化財発掘調査事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	②文化財の保護・活用の推進
総 ◆ 取 組 内 容	文化財調査の実施、調査成果の公開	収蔵施設の整備（文化財、郷土資料等の保存・展示）

◆事業内容(目的・必要性)

埋蔵文化財を適切に保護していくため、開発事業との円滑な調整を図り、調査を行いました。

◆事業の成果

埋蔵文化財包蔵地内の民間開発等に伴う試掘調査を21か所、立会調査を2か所、確認調査を9か所、本調査を3か所で行いました。試掘調査の結果、遺構が見つかったことから西光寺西ノ垣内遺跡、田尻宮ノ西遺跡、田尻宮ノ前遺跡を新たに遺跡として登録し、田尻宮ノ西遺跡で本調査を実施しました。

また、高岡・福田地区ほ場整備事業に伴う埋蔵文化財調査では、桜東畑遺跡、桜遺跡、林谷遺跡、長野諏訪神社周辺遺跡、神谷ヤブノハナ遺跡、宮ノ前遺跡の調査を実施し、奈良時代を中心とした掘立柱建物が見つかるなどの成果が得られました。

また、埋蔵文化財調査報告書を刊行し、調査成果の公開を行うことができました。

■民間開発等に伴う試掘・立会調査

調 査 名	時代	種類	現状	調 査 期 間	調査面積
個人住宅建設に伴う南田原字寺居試掘調査ほか22件	—	—	—	令和3年4月5日～ 令和4年2月22日（22日）	計126㎡

■民間開発等に伴う確認調査

調 査 名	時代	種類	現状	調 査 期 間	調査面積
個人住宅建設に伴う西田原上野田遺跡確認調査（第6次）ほか8件	弥生 奈良 平安	集落	宅地	令和3年4月12日～ 令和4年1月21日（10日）	計94㎡

■民間開発等に伴う本調査

調 査 名	時代	種類	現状	調 査 期 間	調査面積
宅地造成工事に伴う田尻宮ノ西遺跡本調査（第1次）	中世	集落	宅地	令和3年10月21日～ 26日（5日）	57.6㎡
道路改良工事に伴う鍛冶屋遺跡本調査（第5次）	近世	集落	宅地	令和3年10月27日～ 11月5日（7日）	59.7㎡
宅地造成工事に伴う北野散布地本調査（第13次）	奈良	集落	水田	令和3年11月8日～ 12月22日（24日）	1,270㎡

■ほ場整備事業に伴う本調査等

調 査 名	時代	種類	現状	調 査 期 間	調査面積
桜遺跡（第2次）	奈良	散布地	水田	令和3年6月15日～ 7月13日（10日）	520㎡
桜東畑遺跡（第2次）	奈良	集落	水田	令和3年6月29日～ 7月13日（5日）	370㎡
林谷遺跡（第2次）	古墳 ～古代	散布地	水田	令和3年7月19日～ 9月21日（23日）	1,540㎡
長野諏訪神社周辺遺跡 （第1次）	中世	集落	水田	令和3年9月3日～ 令和4年2月4日（50日）	2,884㎡
神谷ヤブノハナ遺跡 （第1次）	弥生 ～中世	集落	水田	令和3年12月9日～ 令和4年3月4日（45日）	1,860㎡
山崎地区ほ場整備事業に伴 う試掘調査	—	—	水田	令和3年11月29日～ 12月23日（12日）	62か所 248㎡
宮ノ前遺跡（第2次）	奈良 ～中世	集落	水田	令和4年2月24日～ 3月23日（14日）	330㎡

□効果・達成度

適切に調査を実施し、埋蔵文化財の保護に努めました。埋蔵文化財包蔵地の可能性がある箇所について、工事立会や分布調査・試掘調査を行うことで新たな埋蔵文化財が発見され、記録保存を行うことができました。

また、桜東畑遺跡や桜遺跡での現地説明会では43名の参加があり、多くの住民に調査成果を公開することができました。その他、歴史民俗資料館の企画展や広報誌等で調査成果を発信することができました。

□課題・改善

引き続き、ほ場整備事業や民間開発事業等との円滑な調整を図り、調査を実施していく必要があります。また、地域住民に埋蔵文化財の価値や調査への理解を深めてもらうために、発掘調査の結果を講座や展示会、現地説明会等で積極的に公開していく必要があります。

未整理の出土遺物が多数残っており、引き続き整理作業を進め、調査報告書の刊行に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳（単位：円）			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
47,949,000	47,271,293	43,000,000			4,271,293

事業名／地域文化財総合活用推進事業

◆事業内容(目的・必要性)

地域の文化財及びその周囲を含め総合的に把握し活用するための基本的なアクションプランとして、福岡町文化財保存活用地域計画を令和2年度から3か年で作成します。2年目となった令和3年度では、福岡町文化財保存活用地域計画協議会において計画の内容を協議し、素案が完成しました。また、過去に調査を行った文化財の追跡調査も引き続き実施しました。

令和4年度は文化庁に地域計画の認定申請を行います。

◆事業の成果

■文化財保存活用地域計画協議会

第4回：令和3年7月7日（水） 第5回：令和3年11月12日（金）

第6回：令和4年2月15日（火） ※オンライン開催

■文化財保存活用地域計画作成支援業務委託料 4,346,100円（受託者：㈱スペースビジョン研究所）

■地域計画素案に対する意見聴取（パブリックコメントの実施）

募集期間 令和3年12月15日（水）～令和4年1月17日（月）

閲覧場所 役場ロビー情報公開コーナー、教育委員会、図書館、文化センター、八千種研修センター、
町ホームページ

提出された意見数 意見提出はありませんでした。

□効果・達成度

令和2年度に未指定も含め文化財を取りまとめた文化財データベースを基に現地調査や追跡調査を進め精査することで、令和3年度末時点で2,214件の文化財が確認されました。調査の過程で把握された新出資料を地域住民の協力を得て4区で確認することができ、地域の文化財を再認識する機会として、住民の関心や理解を深める効果がありました。また、福崎町文化財保存活用地域計画協議会において多くの関係者から意見を得て、文化財の保存・活用に関する方針や長期的な取組についての指針となる福崎町文化財保存活用地域計画素案が完成しました。

□課題・改善

文化庁の認定を受け計画内容を広く住民に周知するとともに、計画に基づいて文化財の保存・活用を進めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5,603,000	5,406,184	4,429,000			977,184

1次評価：B

(5) 保健体育費

項	目	予算現額	支出済額	不用額
5. 保 健 体 育 費	1. 保健体育総務費	23,174,000 ^円	22,917,063 ^円	256,937 ^円

生涯スポーツ事業の振興、推進に尽力している組織の活動費・助成金等です。その活動により、世代性別を問わず、多種目において、こころと体の健康づくりとコミュニケーションづくりの場を地域に提供しました。また、スポーツの成績を評価し讃えることで目標を掲げ、だれもが個性や能力を発揮できる環境づくりを進めました。

事業名／保健体育総務一般事務費

総合計画**後期基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施 策	町の取り組み
総	Ⅱ 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	②指導体制の確立
	◆ 取 組 内 容	指導者の育成	指導者や審判等の資質向上支援
		指導体制の確立支援	
総	Ⅱ 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	③体力づくりの振興
	◆ 取 組 内 容	広報活動の充実	子どもの体力向上を目的とした事業の実施
総	Ⅳ 健康・医療・福祉	1 健康・医療	①健康づくりの推進
	◆ 取 組 内 容	住民の自主的な健康づくり活動の支援	

◆事業内容(目的・必要性)

生涯スポーツ全般にわたる事業推進のため、スポーツ推進委員・普及員が中心となり、地域住民対象のスポーツ大会や講習会等を企画し、生涯スポーツの普及発展を図りました。近年の高齢化に対応し、日常生活の中に運動を取り入れるための普及活動を行いました。

また、生涯スポーツの振興を図るため、福崎町民または出身者ならびに町内に所在する団体であって、特に競技成績が優秀な個人及び団体に対してスポーツ功績賞を授与しました。

◆事業の成果

■スポーツ推進委員会

年4回開催し、変化する地域住民のニーズに応じた大会の企画や運営方法、健康教室等に関する審議を行いました。また、スポーツ推進委員の資質・指導力向上及び情報交換等のため各種研修会に出席しました。

□スポーツ推進委員会

第1回 令和3年4月7日(水) 第2回 令和3年9月22日(水)

第3回 令和3年11月10日(水) 第4回 令和4年1月19日(水)

- | | | |
|---------------------|-----------------|-----|
| ・ひょうご女性スポーツの会総合開会式 | 令和3年6月12日(土) | 神戸市 |
| ・兵庫県スポーツ推進委員中央研究協議会 | 令和3年10月17日(日) | 尼崎市 |
| ・兵庫県スポーツ推進委員女性委員研修会 | 令和3年12月5日(日) | 福崎町 |
| ・ひょうご女性スポーツの会研修会 | 令和3年11月23日(火・祝) | 神戸市 |

■健康推進事業

スポーツ推進委員の知識・技術を活用し、暮らしの中での運動習慣の推進を行いました。

■スポーツ功績賞

スポーツ競技で優秀な成績を収めた方をスポーツ功績賞審査委員会で審議し、個人13人を表彰しました。

【受賞者一覧】

氏名	所属	内容	成績
吉田正道	姫路商業高等学校 2年生	JOC ジュニアオリンピックカップ 第15回 U18 陸上競技大会 男子走幅跳	第5位
多田翔飛	神崎高等学校2年生	令和3年度全国高等学校総合体育大会 自転車競技大会 スプリント	出場
武内悠隼	福崎東中学校 2年生	第17回タイガースカップ 2021～中学生 硬式野球・関西 No.1 決定戦～	優勝
岩本怜於	福崎東中学校 3年生	第29回ヤングリーグ春季大会（中学生 硬式野球）	第4位
中村昂太	〃	〃	〃
難波孝輔	〃	〃	〃
豊島央識	〃	〃	〃
岡本和奈	〃	令和3年度全国中学校体育大会 第61回全国中学校水泳競技大会 女子800m 自由形	出場
上杉こころ	福崎東中学校 1年生	令和3年度全国中学校少林寺拳法 インターネット大会	優良賞
山本彩愛	福崎小学校4年生	第45回兵庫県小学生陸上競技大会 女子低学年 4×100m	優勝
小國芽唯	〃	〃	〃
藤本優希	福崎小学校5年生	〃	〃
藤原莉乃	〃	〃	〃

□効果・達成

スポーツ推進委員の資質向上・生涯スポーツ活動の情報入手等により、福崎町の生涯スポーツ普及発展に大きく成果をあげました。健康セミナーを1回、ポールウォーキング講習会を4回開催し、日常生活の中に運動を取り入れるための普及活動を推進しました。

スポーツ功績賞の表彰により、多様なスポーツ種目において全国で活躍する選手が増え、他の選手の励みになりました。

□課題・改善

スポーツ健康分野において、スポーツ推進委員の能力を生かし活発な活動を続けていきます。また、体育普及員と協力し地域における健康増進活動を活発に進めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,231,000	1,154,341				1,154,341

事業名／町体育協会等育成事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化		8 スポーツ・レクリエーション	④既存団体の育成・組織強化
総	◆ 取 組 内 容	各団体が活発に活動できる体制づくりの支援	各団体への施設開放による支援

◆事業内容(目的・必要性)

福崎町体育協会・福崎町スポーツ少年団の育成強化のため、財政的な補助を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響により、各団体とも活動の自粛を余儀なくされましたが、そのような中でも感染症拡大防止対策を実施し、できる範囲での活動を行いました。

◆事業の成果

体育協会が主催する大会・教室等で参加者への負担軽減、また備品購入等の補助を行うことにより、運営が円滑に行われました。また、スポーツ少年団への補助を行い、青少年の体力・競技力向上に成果をあげました。

■福崎町体育協会加盟団体一覧

R 4. 3.31現在

団 体 名	会 長 名	会員数 (人)	団 体 名	会 長 名	会員数 (人)
庭 球 協 会	佐伯武彦	21	卓 球 協 会	高松繁樹	18
陸 上 競 技 協 会	岩崎文治	21	バレーボール協会	松山濫久	19
少 林 寺 拳 法 協 会	生田久人	22	水 泳 協 会	三輪和幸	21
柔 道 協 会	難波弘一	40	山 の 会 協 会	楠田道廣	35
合 氣 道 協 会	羽室研二	27	ソフトボール協会	三輪一朝	214
ソフトバレーボール協会	米田 泉	45	グラウンドゴルフ協会	尾崎慶三	170
剣 道 協 会	大西崇博	7	ゴ ル フ 協 会	北山孝彦	7
			合 計		667

■福崎町体育協会決算書

収 入			支 出		
項 目	金 額 (円)	備 考	項 目	金 額 (円)	備 考
会 費	28,000	加盟協会から @2,000×14	事 業 費	1,440,000	加盟協会助成金 他
補 助 金	1,444,000	町補助金	事 務 費	8,950	事務用品他
繰 越 金	186,108	前年度繰越	基 金 費	50,000	50周年記念事 業積立金
事 業 収 入	0		予 備 費	0	
雑 入	2	利息	合 計	1,498,950	
合 計	1,658,110				

収入支出差引額 159,160円(令和4年度へ繰越)

■福崎町スポーツ少年団決算書

収 入			支 出		
項 目	金 額 (円)	備 考	項 目	金 額 (円)	備 考
会 費	82,000	加盟団から @1,000×82名 他	登 録 費	68,600	県登録料他
補 助 金	105,000	町補助金	事 業 費	131,635	大会補助金他
繰 越 金	63,791	前年度繰越金	事 務 費	9,720	郵便料他
雑 入	26,635		会 議 費	0	
合 計	277,426		慶 弔 費	0	
			予 備 費	0	
			合 計	209,955	

収入支出差引額 67,471円 (令和4年度へ繰越)

□効果・達成度

競技スポーツのみならず、ニュースポーツを含む14協会と多くのスポーツ種目が活動し、町民のスポーツ活動の活性化に寄与しました。

□課題・改善

子どものスポーツ離れ・指導者不足等が課題となっています。スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブと連携して、スポーツ拠点を増やし、多くの人がスポーツ活動を行うことができるよう努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,549,000	1,549,000				1,549,000

事業名／子ども会運営事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	①地域資源などを生かした人材教育
総 ◆ 取 組 内 容	青少年団体への支援(青少年の自主的な活動を促進)	

◆事業内容(目的・必要性)

子どもたちの福祉増進、子ども会の自主的な活動の充実と町内子ども会相互の連携を目的としています。

◆事業の成果

□効果・達成度

子どもたちの健全な身体と協調精神の向上を目的として、町球技大会・郡球技大会の実施を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。

また、子どもたちの情操教育の一環として、思考力、判断力、決断力のかん養を図る目的で、町少年少女将棋大会を開催しました。

◆事業の成果

■町少年少女将棋大会：令和3年12月5日(日) 場所：福崎町文化センター

参加者

小学校低学年の部	13人
小学校高学年の部	9人

□効果・達成度

町少年少女将棋大会では、子どもたちの精神的な向上を図るとともに、子ども同士の交流を促進することができました。

□課題・改善

新型コロナウイルス感染症の収束後には、子ども会活動が円滑に実施できるよう、啓発等の準備を進めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,107,000	961,521				961,521

1次評価：A

項	目	予算現額	支出済額	不用額
5.保健体育費	2.給食運営費	230,405,000 円	228,173,200 円	2,231,800 円

学校給食のねらいは、毎日を健康でいきいきと生活できるようにするために、食事、運動、休養の調和の

とれた生活習慣を身につけることの大切さを伝えることにあります。また、成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のために、バランスのとれた栄養豊かな食事を提供することにより、健康増進・体力の向上を図ることはもちろんのこと、正しい食事の在り方や望ましい食習慣を身につけ、好ましい人間関係を育てるなど多様で豊かな教育的な役割も担っています。

給食センターでは、「福崎町第2次食育推進計画・健康増進計画」に基づき、生涯にわたって健康で充実した生活を送るための基礎を培う健康教育の一環として、地場産物の活用を推進し、学校給食を生きた教材として活用した食育に取り組みました。

事業名／給食センター管理事業

◆事業内容(目的・必要性)

平成30年4月から調理・配送業務の民間委託を実施し、学校給食運営の合理化を図っています。また、各作業場に設置した6台のテレビカメラシステムを活用し調理現場における安全衛生管理や、夏場の給食配送時に保冷剤を使用し食中毒等の対策を行いました。

給食の試食会については、新型コロナウイルス感染症予防等もあり申込は2回（延人数10人）でした。設備改修は18年が経過し、耐用年数や部品供給の観点から工事を行いました。

給食費の滞納問題については、滞納整理対策委員会の方針に基づき、関係課職員が情報を共有し、連携して合同徴収を行うことで、徴収率の向上を図りました。また、教育委員会・学校等関係機関の連携・協力により、給食費の滞納額の減少に努めました。

◆事業の成果

■収入状況

(単位：円)

年度	区 分	調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	徴収率(%)
令和3年度	現年度	103,079,124	102,613,778	0	465,346	99.5
	過年度	670,387	261,502	0	408,885	39.0
	計	103,749,511	102,875,280	0	874,231	99.2
令和2年度	現年度	44,464,688	44,268,408	0	196,280	99.6
	過年度	1,098,345	624,238	0	474,107	56.8
	計	45,563,033	44,892,646	0	670,387	98.5

私立認定こども園から給食事業諸経費納付金（給食にかかる電気代・水道代・消耗品費）として、553,000円を収入しました。

■支出状況

平成15年6月から供用開始した、給食センターの厨房機器・設備機械等は耐用年数の経過で消耗部品に不具合が生じ、給食センター管理事業の修繕料を2,073,412円支出し、空調設備や高圧受電機器等も耐用年数や部品供給の観点から設備改修工事を行い、2,755,500円を支出しました。

■学校給食費 調定額及び収入状況 (R 4. 5. 31現在)

(単位:円)

学校または 施設名	調 定 額		収 入 済 額		不納欠損額		収 入 未 済 額	
	現年度	過年度	現年度	過年度	現年度	過年度	現年度	過年度
福 崎 小	20,425,052	186,896	20,312,420	107,680	0	0	112,632	79,216
高 岡 小	2,856,672	0	2,850,064	0	0	0	6,608	0
田 原 小	23,732,112	188,181	23,656,768	83,376	0	0	75,344	104,805
八 千 種 小	7,079,564	0	7,050,420	0	0	0	29,144	0
計	54,093,400	375,077	53,869,672	191,056	0	0	223,728	184,021
西 中	13,728,254	220,160	13,544,354	35,834	0	0	183,900	184,326
東 中	16,197,426	50,138	16,156,320	9,600	0	0	41,106	40,538
計	29,925,680	270,298	29,700,674	45,434	0	0	225,006	224,864
福 崎 幼	3,738,644	0	3,738,644	0	0	0	0	0
高 岡 幼	772,007	0	772,007	0	0	0	0	0
田 原 幼	5,725,800	25,012	5,709,188	25,012	0	0	16,612	0
八 千 種 幼	1,848,626	0	1,848,626	0	0	0	0	0
計	12,085,077	25,012	12,068,465	25,012	0	0	16,612	0
給食センター 職員	724,222	0	724,222	0	0	0	0	0
私立 こども園	6,250,745	0	6,250,745	0	0	0	0	0
計	6,974,967	0	6,974,967	0	0	0	0	0
合 計	103,079,124	670,387	102,613,778	261,502	0	0	465,346	408,885

□効果・達成度

現年度給食費の徴収率は、令和2年度より0.1%減の99.5%となり、過年度給食費の徴収率は令和2年度より17.8%減の39.0%となりました。また、現年度・過年度合わせて徴収率は99.2%でした。

□課題・改善

今後、給食費の現年度分をできるだけ滞納繰越にしないように早めの対策を講じるとともに、過年度滞納分についても徴収体制の確立・臨戸訪問強化を行い、徴収率の向上につなげていきます。厨房機器等の更新も計画的に実施していきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
30,750,000	30,349,326		1,300,000		29,049,326

事業名／給食センター給食事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	②学校教育の充実
総◆取組内容	食育の一環として地産地消を推進	安全・安心な学校給食の提供
Ⅳ 健康・医療・福祉	1 健康・医療	②食育の推進
総創◆取組内容	もち麦の健康効果の周知と利活用	

◆事業内容(目的・必要性)

学校給食に使用する食材発注に際しては、産地確認や情報収集をしっかりと行い、厳選した食材で調理し、安全安心な給食の提供に努めました。主に野菜は地元産を、魚・肉は県内産を優先して使用し、年中

行事等に合わせた献立や果物、デザート等から季節を感じてもらえるように工夫しました。特に生活習慣病の予防にも大切な「豆・ごま・海藻・野菜・魚・きのこ類・いも類」を献立に多く取り入れ、「福崎町第2次食育推進計画・健康増進計画」に基づき、安全安心な地域の食材をできるだけ多く給食に取り入れました。また、福崎町の特産物である「もち麦」に親しみ、家庭でも活用してもらえるように、給食においても、もちむぎ麺やもちむぎ精麦を使用した献立を積極的に取り入れました。そうした福崎町の給食をPRするために、毎月発行する給食だより等の中で詳しく紹介し、児童・生徒及びその家庭に伝えました。

一日平均給食供給人員は約2,360人で給食延べ人員は、471,034人でした。小学校年間180日、中学校年間177日、認定こども園（1号認定）年間168日、（2号認定土曜日保育無）年間230日、（2号認定土曜日保育有）年間268日、（3号認定）年間268日の給食を提供しました。

平成30年度から調理・配送業務を民間委託し、学校給食運営の合理化を図っています。

【コーベフーズ株式会社：60,871,800円】

■ 給食センター給食事業での主な支出は、給食原材料費で104,077,112円です。

給食原材料費内訳 (単位：円)

区 分	金 額
副 食 費	64,366,677
米 飯 代	16,571,219
パ ン 代	5,147,772
牛 乳 代	17,991,444
計	104,077,112

■ 地産地消の取り組み

・「福崎町第2次食育推進計画・健康増進計画」の中の「地産地消の推進・食文化の継承」に基づき、給食センターでは、学校給食における地元野菜（米含む）目標地産地消率（重量ベース）を42%と定めています。農林振興課と連携し生産者の協力を得ながら開発した地元産じゃがいもと玉ねぎを使用した「じゃがいもコロッケ」や地元産さつまいもを使用した「さつまいもコロッケ」を令和3年度も給食に提供しました。給食における地産地消率は43.0%と令和2年度よりも10.4%減となりましたが、主な理由は地元生産者（1団体）の経営方針の転換や天候不順、鳥獣被害により収穫量が減ったことにより給食センターへの納品が減ったためです。また、7月には「夏野菜カレー」、10月と11月には「さつまいものクリーム煮」、12月には「冬野菜のカレースープ」を提供し、地元産の野菜を中心に使用した給食で地産地消をPRしました。地元産大豆で作られた「手作りみそ」を使用したみそ汁を年2回提供し、提供時に「手作りみそ」について各学校で校内放送により説明していただきました。

・福崎町特産の「もち麦」の利用促進については、週1回のパン給食の日には、もちむぎ粉を10%ブレンドした「もちむぎコッペパン」、週4回のご飯給食の日のうち、毎週水曜日には、もちむぎ精麦を8%ブレンドした「もちむぎご飯」を提供しました。また、汁物に「かやくもちむぎ麺」や「もちむぎそうめん汁」を取り入れ、毎年リクエストが多く好評である「冷やしもちむぎ麺給食」を夏期に提供して、もち麦の使用に努めました。

□ 効果・達成度

給食にもち麦を積極的に取り入れることで児童・生徒に親しみをもってもらい、給食だより等でもち麦の良さを広く情報発信することにより、家庭でも広く活用してもらえるようPRしました。また、毎月、町のホームページに給食献立表及び給食物資の産地情報を掲載して、食の安全性を啓発しました。

□ 課題・改善

今後も地元生産者等との連絡を密にし、ほ場巡回の回数を増やし、野菜の収穫時期に合わせた献立計画を作成して、給食に地元産の野菜の取り入れをさらに増やす努力をしていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
189,643,000	187,836,234			103,428,280	84,407,954

1次評価：B

項	目	予算現額	支出済額	不用額
5.保健体育費	3.町民グラウンド 管理費	10,824,000 ^円	10,710,939 ^円	113,061 ^円

町民グラウンドは、町民が生涯を通して健康で充実した生きがいのある生活を送るために、町民の健康づくりとスポーツ活動を行う生涯スポーツの場として利用されました。

事業名／町民第1、第2グラウンド管理事業

◆事業内容(目的・必要性)

町民第1、第2グラウンドを安全・快適に利用していただくため、施設修繕・点検・清掃等を実施しました。

◆事業の成果

■ 施設修繕を行い、スポーツがより快適に活動できる場を提供しました。

- ・第1グラウンド時計制御盤ボックス取替工事 93,500円 (請負業者：高岡電工(株))
- ・第2グラウンドトイレ洋式化改修工事 468,600円 (請負業者：高岡電工(株))
- ・第1・第2グラウンド施設表示看板設置工事 297,000円 (請負業者：(株)創美工芸) 等

■ 施設を安全に使用するために、点検・清掃等の委託を行いました。

- ・清掃委託料 197,120円 (請負業者：(公社)中播広域シルバー人材センター)
- ・第1グラウンド水路清掃業務 187,000円 (請負業者：橋本(株))
- ・電気設備管理委託料 118,800円 (請負業者：小國電気設備管理事務所)
- ・草刈等委託料 103,950円 (請負業者：(公社)中播広域シルバー人材センター)

□効果・達成度

第1グラウンドでは、時計制御盤ボックス取替や詰まっていた駐車場北の水路清掃などを行い、より快適にスポーツ活動を行える環境に整備しました。第2グラウンドでは、グラウンドゴルフを中心とした利用がありました。また、両グラウンドの施設表示看板を設置しました。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、施設の休館、休場、使用時間等の制限が引き続きありましたが、令和3年度社会体育施設(町民グラウンド、スポーツ公園、体育館)利用者数は、97,346人と前年に比べやや増加となりました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H29	H30	R1	R2	R3	目標(R5)
社会体育施設利用者数 (町民グラウンド、スポーツ公園、体育館)	122,156	126,931	120,133	84,010	97,346	135,000

□課題・改善

第1グラウンドは、改修工事を実施して以降、小石が露出することが少なくなり、グラウンド内は利

用者が安全で快適に利用できています。しかし、敷地周辺を含め、樹木の伐採や除草、溝掃除など管理面での課題は多々あります。第2グラウンドも含め、今後は施設の計画的な修繕及び効率的なグラウンド整備を進めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,672,000	3,596,000			536,140	3,059,860

事業名／スポーツ公園管理事業

◆事業内容(目的・必要性)

スポーツ公園を安全・快適に利用していただくため、施設修繕・点検・清掃等を実施しました。

◆事業の成果

■ 施設修繕を行い、より快適にスポーツ活動ができる場を提供しました。

- ・スポーツ公園ソフトボール場手すり設置工事 253,000円 (請負業者：播州道路施設㈱)
- ・第2体育館電気配線改修工事 335,500円 (請負業者：高岡電工㈱) 等

■ 施設を安全に使用するために、点検・清掃等の委託を行いました。

- ・警備委託料 284,592円 (請負業者：セコム㈱加西営業所)
- ・芝生管理委託料 616,000円 (請負業者：中塚造園土木)
- ・電気設備管理委託料 132,000円 (請負業者：小國電気設備管理事業所)
- ・清掃委託料 (第2体育館) 60,500円 (請負業者：㈱新栄ビルサービス)
- ・消防設備点検委託料 (第2体育館) 8,580円 (請負業者：神姫防災)

□効果・達成度

多くの利用者に活動の場を提供することで、住民の体力向上・健康増進、併せて地域コミュニティの育成に貢献することができました。

□課題・改善

ソフトボール場は表土が風雨による流出や飛散により、傷みが目立つため、土の入れ替え、整備の必要があります。施設全体の照明設備についても水銀灯を採用しているため、安定器の寿命も含め、LED化への検討もしていく必要があります。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4,596,000	4,580,978			1,212,750	3,368,228

事業名／町民第3グラウンド管理事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅵ まちの基盤	4 公園・緑地	①公園・緑地の整備・拡充等
◆ 取 組 内 容	浄化センター周辺の修景施設を含めた公園利用	

◆事業内容(目的・必要性)

町民第3グラウンド(さるびあドーム、スケートボード場、遊具広場)を安全・快適に利用していただくため、施設修繕・点検・清掃等を実施しました。

◆事業の成果

■ 施設修繕を行い、より便利に利用できるようになりました。

- ・男子トイレ手洗い自動水栓取替工事 200,640円（請負業者：高岡電工(株)） 等

■ 施設を安全に使用するために、点検・清掃等の委託を行いました。

- ・警備委託料 142,296円（請負業者：セコム(株)加西営業所）
- ・電気設備管理委託料 68,640円（請負業者：小國電気設備管理事務所）
- ・清掃委託料 286,000円（請負業者：(公社)中播広域シルバー人材センター）
- ・消防設備点検委託料 19,800円（請負業者：(株)消防装備）

□効果・達成度

さるびあドーム・スケートボード場・遊具広場は、幅広い世代が活動できる複合施設として、多くの利用者にレクリエーション活動の場を提供でき、住民の体力向上・健康増進、併せて地域コミュニティの形成に貢献できました。

□課題・改善

ドーム内グラウンドについては、定期的な散水に加え、スポーツトラクターでの整備に努めています。今後も引き続き効率的な整備方法を研究します。スケートボード場については、利用者が増えていますが、年長者のヘルメットの未着用が目立ちます。今後においては、啓発・監視体制を検討し、安全で快適に利用できるように努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,556,000	2,533,961	120,000		1,418,160	995,801

1次評価：B

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
5.保 健 体 育 費	4. 学校施設社会 開 放 費	20,975,000 ^円	20,860,930 ^円	114,070 ^円

生涯スポーツを推進するため、また、町民のスポーツの場を広げるため、学校施設の社会開放を行い、ナイター設備の維持に努めました。

事業名／学校施設社会開放事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>		施 策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	2 地域づくり		①地域コミュニティ活動への支援
総 ◆ 取 組 内 容	施設の開放、利用促進		
II 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション		④既存団体の育成・組織強化
総 ◆ 取 組 内 容	各団体への施設開放による支援		

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民のスポーツ振興を図るため、町内の小・中学校の運動施設（体育館・グラウンド）の積極的な開放を実施しました。

◆事業の成果

■学校施設社会開放 学校別集計表

		福崎小	高岡小	田原小	八千種小	西 中	東 中	計
体 育 館	使用回数(回)	281	252	353	244	154	226	1,510
	使用人数(人)	5,647	4,273	11,117	7,526	3,515	4,413	36,491
	使 用 料(円)	67,560	50,870	105,320	227,240	37,700	50,850	539,540
グ ラ ウ ン ド	使用回数(回)	84	38	17	130	1	0	270
	使用人数(人)	2,615	635	1,710	3,570	300	0	8,830
	使 用 料(円)	12,100	0	26,400	99,000	0	0	137,500

■ 施設を安全に使用するために、八千種小学校運動場夜間照明の改修を行いました。

・夜間照明設備改修工事費：20,075,000円（請負業者：高岡電工㈱）

□効果・達成度

町内外のスポーツクラブやサークル等の団体に対し、学校施設を開放することにより、地域に根付いた身近な生涯スポーツ・生涯学習活動の場と機会を提供しました。設備不良が指摘されていた八千種小学校運動場の夜間照明を改修し、利用者の安全性を確保しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設の使用中止や利用制限を行ったことにより、利用人数は減少傾向にありますが、スポーツクラブ4団体や各種団体のほか、一般の団体が継続的に利用しており、学校施設の開放事業が広く地域住民に浸透しています。このように、多くの団体に活動の場を提供することで、地域住民の体力向上・健康増進、併せて地域コミュニティの育成にも貢献することができました。

□課題・改善

授業等に支障がないよう、学校とも十分連携をとって、適正な管理に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
20,975,000	20,860,930		7,800,000	12,000,040	1,060,890

1 次評価：B

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
5.保 健 体 育 費	5.体育館運営費	7,226,000 ^円	7,087,749 ^円	138,251 ^円

生涯スポーツの拠点として各年代層にあったスポーツを選択できるよう、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施し、様々な教室・講習会を開催しました。また、小学生向けの行事を通して青少年の健全育成に努めました。

施設において、より安全で効率的なスポーツ活動の場を提供するために、設備の充実・整備を行いました。

事業名／町民体育館管理事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>		町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	①スポーツ施設等の効率的な管理・運営
総 組 織 内 容	スポーツ施設の充実	
Ⅱ 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	③体力づくりの振興
総 創 組 織 内 容	各種教室及びスポーツ大会の充実	
Ⅳ 健康・医療・福祉	1 健康・医療	①健康づくりの推進
総 組 織 内 容	職員のスキルアップ（多様なニーズに対応）	

◆事業内容(目的・必要性)

第1体育館を安全かつ快適に利用していただくため、施設修繕・点検・清掃等を実施しました。卓球台についてはキズや接合部の破損が目立っていたため、入れ替えを行いました。近年、世代性別問わず誰もが参加できるニュースポーツの需要が高まっており、カラーリングや囲碁ボールを購入、講習会などで活用しました。また、地域住民の体力向上・健康増進・地域コミュニティ・スポーツ振興を図るため、今後のスポーツ大会・教室等のプログラム向上について検討しました。

◆事業の成果

■ 施設修繕を行い、より快適に施設利用ができる環境を整えました。

- ・卓球室ブラインド取替工事 199,931円 (請負業者：㈱モリ)
- ・雨樋金具修繕工事 229,900円 (請負業者：高岡電工㈱)
- ・トレーニング室感染予防対策事業 126,500円 (間仕切りパネル購入等) 等

■ 施設を安全に使用するために、点検・清掃等の委託を行いました。

- ・年末清掃委託料 304,700円 (請負業者：㈱新栄ビルサービス)
- ・外壁清掃業務 132,000円 (請負業者：㈱新栄ビルサービス)
- ・自動ドア保守点検委託料 46,200円 (請負業者：寺岡オート・ドアシステム㈱)
- ・消防点検業務委託料 24,200円 (請負業者：㈱消防装備)

＊町民体育館利用人数

(単位：人)

年度	球技室	体育室	卓球室	トレーニング室	第2体育館	計
元年度	13,756	5,138	5,111	9,991	7,149	41,145
2年度	12,853	3,836	2,860	5,597	6,424	31,570
3年度	13,952	3,920	3,327	5,154	8,103	34,456

■ 各種大会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、ほとんどを中止しました。小学生対象の生活塾シリーズについては、代替行事を実施しました。

大会名	期日	場所	対象	参加者
マスターズソフトボール大会	4/11	第1グラウンド	35歳以上の男女。チーム年齢合計が360歳以上で構成	4チーム
町民親善グラウンドゴルフ大会	3/12	第3グラウンド	誰でも可	中止
山菜ハイキング	5/22	鉢伏高原	誰でも可	中止
カヌー教室	8/8	野外活動センター	町内小学4～一般	15人
アウトドア生活塾	10/23	野外活動センター	町内小学4～6年生	9人
自治会親善ソフトボール大会	8/17～21	第1グラウンド他	自治会でチームを編成	中止
地域職域親善ソフトボール大会	11/14	第1グラウンド	町内在住在勤者	6チーム
子ども遊びフェスティバル!	1/22	第1体育館	町内幼児園児以上及び保護者	中止
ハーフデー生活塾	11/3	第1体育館周辺	町内小学1～6年生	34人

- スポーツ講習会を開催し、健康づくりや町民の体力維持増進に努めました。

講習会名	期日	場所	内容・対象	参加者
健康セミナー	6/19	体育館球技室	ニュースポーツ体験	中止
	8/28	文化センター	認知症予防コグニサイズ	中止
	11/20	体育館体育室	背骨コンディショニング	15人
はじめてのポールウォーキング講習会	10/2・9・16・30	町内各地	町内在住・在勤者でポールウォーキング未経験者	13人

- 健康・スポーツ教室を開催し、健康づくりやスポーツ活動の普及に努めました。

教室名	対象	曜日	時間	1期	2期	3期
貯筋教室	65歳以上	水曜日	9:30～11:00	中止	16人	15人
夜のフィットネス教室	誰でも可	木曜日	18:00～19:30	中止	18人	17人
からだのびのび教室	誰でも可	火・金曜日	9:30～10:15	75人		
健康ソフトバレークラブⅠ	誰でも可	火曜日	10:15～11:45	25人		
健康ソフトバレークラブⅡ	誰でも可	金曜日	10:15～11:45	26人		
にこにこスポーツ教室	誰でも可	木曜日	13:30～15:00	12人		
いきいき教室	誰でも可	火曜日	13:30～15:00	11人		
ポールウォーキング教室	誰でも可	木曜日	9:30～11:00	27人		

□効果・達成度

各種大会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止を余儀なくされましたが、その他講習会や健康・スポーツ教室を通じて、健康づくりや地域のコミュニケーションの場を提供することができ、また誰もが気軽に参加でき、多くの方の健康維持増進に努めました。

□課題・改善

行事や教室を催すにあたり、参加者が安全に楽しく参加できるよう運営形態や指導方法等に留意していきます。

参加数が減少している事業を検証し、運営の改善及び新たな行事の展開等検討していく必要があります。

予算額	決算額	財源内訳 (単位:円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
6,895,000	6,807,349	120,000		2,261,435	4,425,914

事業名／地域スポーツ奨励事業

◆事業内容(目的・必要性)

地域の健康づくり、コミュニケーションづくりを目的に、各種スポーツイベントの運営に係る経費の補助、地域スポーツクラブの活動に係る電気代及び施設使用料等における経費の補助を行いました。

◆事業の成果

- スポーツクラブの活動に係る電気代として各学校に支払い、負担を軽減しました。

・福崎小学校へ 48,000円 ・田原小学校へ 48,000円 ・高岡小学校へ 28,800円
 ・八千種小学校へ 48,000円 ・福崎東中学校へ 28,800円 ・福崎西中学校へ 28,800円

- スポーツクラブ連合補助金を交付しました。

・スポーツクラブ連合補助金 50,000円

□効果・達成度

スポーツクラブを支援することにより、地元校区で気軽にスポーツをできる環境づくりができました。

□課題・改善

スポーツクラブの会員数が減少傾向にあります。町体育館と連携を深め、地域スポーツの活性化に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
331,000	280,400				280,400

IV 学識経験者の意見

1. 就学前の子育て支援事業

- ① 病気やけがで集団保育が難しい子どもの病児保育事業があることは、働く保護者にとって大変心強く、効果的な支援になっていると考えられる。
- ② 福崎町の病児保育事業利用者が3名であったとのことであるが、広報の方法によっては利用者増が見込まれる。負担金が必要であるが、記載のとおり、保護者への周知に努めていただきたい。
- ③ 町内の利用者が少なく、本当に利用したい人が利用できていないのではないかと。実施場所が遠く距離的な問題なのかもしれないが、より利用しやすい方法などを検討して欲しい。
- ④ 「福崎町第2期子ども・子育て支援事業計画」の進捗状況を確認するため、福崎町子ども・子育て会議が開催されたことは、有意義なことだと思う。その後に保護者の意見と保育に従事する者との意見の交換会等も実施されればと思う。
- ⑤ 赤ちゃん誕生の記念品の贈呈に関して、保健センターの3か月健診時の「こんにちは赤ちゃん事業」や図書館の「ブックスタート事業」など、相互連絡を取り、より豊かな事業になればいいと思う。
- ⑥ 町外の保育所に委託料が支払われている事実を保護者が理解できているのか気になった。受け入れていただいている保育園から保護者に対して説明があれば、福崎町から支援を受けていることが明確になり、保護者からの評価も上がると思う。
- ⑦ 認定こども園において、保護者の多様なニーズに応じて運営がなされている。また、園児送迎バスの運行について、「決まったルートで園児を乗せて、園に到着時には必ず対面で引き渡す」というマニュアルになっており、昨今、ニュース等で社会問題化されている「バスに園児が取り残される」等の事故が起きないように注意がなされているとのことであり、安全性の面で安心ができた。
- ⑧ 認定こども園では、午後7時までの延長保育事業等、利用者に配慮した取組が進められている。
- ⑨ 認定こども園に養護教諭を配置することにより、園にとっても保護者にとっても安心で、保育者が保育にも専念できる良い取組である。今後は、各園に一人の配置が望ましい。
- ⑩ コロナ禍で、子育てに精神的なストレスが強くなることも考えられたが、子育て支援事業の中で、親子が集える場所づくりや相談業務等、家に閉じこもって限られた人間関係にせず、電話での相談も適切になされたため、多世代交流の中で遊ぶこともでき、望まない事案を招くこともなく良かった。
- ⑪ 子育て支援センター等での活動による保護者同士のつながりは、その後、子どもが小・中・高と成長しても続いている。同級生の保護者を知っているということはたいへん心強いことである。コロナ禍で運営しにくい状況ではあるが、ぜひ多くの機会を作っていただ

きたい。

- ⑫ 子育て支援施設は、なくてはならない交流の場であり、相談ができる大切な場所である。多くの子育て家族が様々な事業や講座に参加されている様子を拝見している。これからもより多くの家族が、もっと安心して気軽に参加できるよう、ハード面・ソフト面共に施設の工夫を検討してほしい。
- ⑬ 学童保育園で指導員が工夫されて折り紙等で作品づくりをしていただいた。それを持ち帰った子どもがうれしそうに話をしていたことを思い出す。保護者の就労等で会話をもつ時間が少ない家庭にとってはありがたく、児童の健全育成に大きく寄与している。
- ⑭ 学童保育園では、様々な環境改善に努め、指導員の放課後児童支援員認定資格研修に参加する等、資質向上に努められている。
- ⑮ 東部と西部の学童保育園の指導員の意見交換をする場があれば、より良い運営ができるのではないかと。
- ⑯ 放課後子ども教室事業は、放課後に宿題やあそびの活動をしながら、他学年の児童の下校時刻に合わせることで、帰宅時の安全確保ができ、安心できる支援ができていたことは大変重要である。

2. 教育委員会関係事業

- ① コロナ禍で加速した GIGA スクール構想に取り組む先生へのフォロー、お世話になっている地域の方への感謝状贈呈を創設する提言、「生理の貧困」への取組等、多岐に渡る教育諸課題に積極的に対応され、情勢をより早く察知し検討されたため、ウェルビーイングな世の中に向けて俯瞰的かつ現実的な教育行政をなされたことに敬意を表します。
- ② 学校現場では喫緊の課題が数多くある。コロナ禍で学校行事の視察等制限がある中、個々の教育委員が情報収集に努め、研究協議を重ねている点は、高く評価できる。
- ③ 教育委員は、会議や報告事項等に囚われることなく、行事の視察等とはもとより、学校現場へ出向き、授業を参観し教師との意見交換など密に連携してほしい。
- ④ 不登校指導におけるきめ細かな対応、特別支援学級への入級適正判定及び障がいについて、理解を深める研修の充実、ICT 支援、ALT の国際理解教育、スポーツをはじめとした各種大会参加への支援、自然学校等、個別最適な教育・主体的で対話的な福崎の深い学びの教育がバランスよく実施されており、これからさらに求められる非認知能力も育まれていることを感じます。
- ⑤ 不登校児童・生徒の増加や ICT 機器導入等により、教職員の業務は肥大している。不登校指導員や ICT 支援員を配置することは、大切な取組である。
- ⑥ 外国語指導助手の存在は、小・中学校での英語教育に必要不可欠である。生きた英語を

学び、興味・関心をもつことで、児童・生徒の将来に必ず生きる。もしできるなら、オンライン等で外国の学校や学生と交流できればよりすばらしい取組になると感じる。

3. 学校関係事業

- ① コロナ禍で感染症対策を徹底しながら小中学校の児童生徒の学習保障をすることは本当に大変なことだったと思う。短期・長期の適切な資材購入と運営で円滑に教育活動をされたことに感謝します。
- ② 学校施設の長寿命化改修は予算規模が大きいため、繰り越し等、計画的に進められていることは良いと思う。施設の長寿命化改修は喫緊の課題であるので、今後も計画的に進めてほしい。
- ③ 自然学校は2泊3日と縮小し実施されたが、学校へ行きづらい児童が参加できたことは、教室とは違う自然の中で「生きる力」を育成することを目的とした事業の成果である。
- ④ 新型コロナウイルス感染症の対策は当面の間、引き続き必要となる。今後も適切な対応を心がけてほしい。英語検定料補助は、たいへんありがたい。
- ⑤ 障がいに応じた丁寧で合理的な配慮がなされた教育活動、就学援助により、公正公平で教育の機会均等が保障され、福崎のあたたかな教育が確立されていると思います。小学校の発達段階、人間の基盤ができる時期の教育に適切な支出をされることが、福崎に住むすべての人の継続的な幸せを築く基礎となると考えられます。また、中学校の発達段階、義務教育修了から高等教育への繋ぎ、あるいは社会人となるキャリア育成時に適切な支出をされることが、福崎町が安心安全な町であることを支えることになると考えられます。
- ⑥ 特別な支援を必要とする児童・生徒は、全県的に増加傾向にある。引き続き個に応じた指導ができるよう教育活動の充実を望む。
- ⑦ 就学援助は、様々な環境を克服する有効な手立てであると感じる。今後も必要な児童生徒に支援し続けてほしい。

4. 給食センター事業

- ① 平成30年に民間委託、合理化が図られた後も、コロナ禍の感染予防においても、適切な安全衛生管理、適切な運営がなされている。また、給食費の滞納問題についても関係職員と機関の連携で、徴収率の向上が図られている。
- ② 地産地消について、その率としては年度の諸所の理由による差異はあるが、さまざまな工夫と取組がなされ、児童生徒への意識づくり及び家庭への情報発信もされていて、食の教育としてもすばらしいことである。
- ③ 給食を通じて「もち麦」が福崎町の特産品であることは定着している。ふるさとの特産

品を誇りに思う気持ちが醸成されている。

- ④ 給食費の滞納への対応は難しいと感じるが、引き続き徴収率の向上に努めてほしい。
- ⑤ 他町の状況、町の財政状況も考慮しながら給食費の無償化も考えてみてはどうだろうか。

5. 社会教育事業

- ① 学校・家庭・地域が一体となって健全な子どもを育てることに取り組み、まちと人をつくる自主的なグループ育成も続けられている。異年齢、異文化、異なる立場の人をリスペクトしながらさまざまな体験を共にできる実現の場、地域住民のエージェンシーを発揮できる場を意識的に創ることが、アフターコロナ、ウィズコロナの今後、ますます必要となってくる。
- ② 地域ヘルパーの取組は、登下校中の痛ましい事故を未然に防ぐ重要な取組であり、地域ヘルパーの方々の努力で児童生徒の安全が守られている。
- ③ 地域ボランティアの高齢化に対して、高校、大学を通して、町内在住の高校生、大学生に力を借りられるよう呼びかけてみてはどうか。
- ④ 青少年健全育成委員の活動の在り方を見直す必要があると考える。
- ⑤ 補導委員、学校、地域、民生児童委員等が連携した活動が大切だと思う。
- ⑥ 人権問題は多様化しているが、3年度は新型コロナウイルス感染に関連した人権侵害の問題もあり、自治会、家庭、学校において、より一層の人権意識高揚が図られた。ひきこもり・介護に関する講演や、感染症に関する誤解・偏見防止の啓発活動にも取り組まれている。今後、LGBTQ+理解や、SNS上のモラル等、現代的課題に対して自分ごととしてどれだけ考えられるか、心の教育がますます重要となる。同じであることの安心と、みんな違って良いと認め合えること、また、許されない違いへの敏感な気づきから、個人の成長と合わせて社会全体が幸せであるウェルビーイングな福崎に向けて、新たな創造的が求められる。
- ⑦ 地域住民の人権意識の高揚を図るには、自治会研修会が効果的であると考え。引き続き研修会を推進してほしい。
- ⑧ 自治会単位で参加者が減少傾向とあるが、参加しやすい日程調整をして、県の啓発DVDを見るだけの時間になっているので、それだけに留らず積極的な意見交換ができる場づくりを考えるべきである。

6. 芸術・文化事業

- ① 身近なところに豊かな文化財がある福崎であるから、それを活用するさまざまな事業が計画されている。限られた人ではなく、広くその魅力に触れ、郷土を愛し、理解と誇りを

もてるよう、アクションプランが期待される。

- ② 福崎西中学校の合唱は新聞でも取り上げられ、住民の関心が高い。状況が許せば町内でも発表の機会を増やしてほしい。
- ③ 老人大学、セミナー共にコロナ対策をしながら、工夫を凝らした事業をされているが、住民は地域に拘ることなく、より新しい自分のニーズにあった場所を求めている。そのため利用者増に繋がらないのではないかと。50年近く続けられている老人大学では、従来どおりのことでなく、思いきった新しいことに目を向ける時がきているのではないかと。
- ④ 文化センターにおいては、特に高齢の利用者も安全に利用できるよう、適切な補修がなされることを願います。
- ⑤ 文化センターの老朽化に対する対応は、他の施設との兼ね合いもあり難しいと感じるが、適切に対応をしてほしい。
- ⑥ エルデホールでは、人生の生きがいと楽しみを提供する機会づくりを目的に、さまざまな助成制度を活用して多彩な文化企画がなされています。
- ⑦ エルデホールの自主事業では、内容を工夫・精選され、多くの入場者があり、素晴らしい。文化センターとエルデホールの事業の住み分けについて、今一度確認する必要があると思う。
- ⑧ 研修センターの運営について、行政主導型の活動ではなく、状況に応じ地域に根ざした活動が行われていて素晴らしい。地域文化の活動、交流、発表の場として、引き続き、さらに有効に利用される企画を期待します。

7. 図書館事業

- ① 外出の自粛が求められたなか、図書の貸し出し点数が開館以来2番目に多くなったことは、税金の使われ方としても、個々人の時間の使われ方としても、非常に望ましいこととされます。今後、アフターコロナ、ウィズコロナの時代に、子どもたちが図書館を積極的に利用し、学びの主体者となって生涯、本を活用するきっかけが作れるよう、学校との連携をぜひ深めていただきたいと思います。
- ② 学校との連携をさらに深め、図書館と学校図書室が連携できるような取組を進めれば、図書館がより身近な存在になると思う。
- ③ 人口2万人以下の町村で、個人貸出数が全国2位という素晴らしい結果を出している。町外からの利用者が多くなり、これからも応援隊と協力して町内の利用者をより増やし、活気のある図書館を目指してください。
- ④ 書架の乱れが気になります。特にF門。書架を見ることが利用者全体を見ることに繋がる程、書架整理は大切である。

8. 文化財事業

- ① 文化財保存活用地域計画素案に対するパブリックコメントに意見が出なかったことは残念であるが、他市では、文化財の振興と保護を合わせた活用について、画期的なアイデアが取り入れられて、地域活性が成功しているところもあるように思われる。民間の力を得た、宿泊施設を兼ねながらの建物保護振興も魅力的な取組であるので、地域住民の利用と、他地域から観光に来られることとを両立させ、国の観光支援事業と別に、町の大きなサポートシステムで、福崎の文化を内外にPRできることを願う。
- ② 柳田國男先生の顕彰や調査・研究となると少し敷居が高く感じるので、たとえば小学生に「おじいちゃん、おばあちゃんに昔話を聞いてみよう」など取り組みやすい課題を提示してみるとおもしろいのではないかと感じる。
- ③ 辻川界隈の文化振興で、福崎町ならではの様々な事業を展開し大きな成果を挙げている。なかでも柳田國男先生を顕彰する様々な取組が行われているが、柳田國男検定など特化した人たちだけでなく、今一度町内の小中学生に広く関心を高めてもらう手段として、以前のように文集を作成するのもいいかもしれません。
- ④ 町内の文化財について、認知度が低いものもある。11月23日に実施されている「自然歩道を歩こう大会」で、その場所で文化財の説明を聞きながら歩くコースを設定してみてもどうか。

9. 社会体育事業

- ① 安全快適な施設管理のために修繕等された青少年野外活動センターをさらに活用されるよう、地域の団体利用や「チーム学校」としての学校教育での活用など、新たな魅力的なアイデアを集められる工夫を検討されたい。
- ② 青少年野外活動センターは自然環境にも恵まれ、施設も整備され、昨今のキャンプブーム等で、他府県の車もよく見かけるようになり、利用者増に期待ができる。
- ③ 多様なスポーツ種目で活躍する選手を表彰することで、皆が元気になることは素敵です。健康寿命を延ばすために、予防介護のレベルではなく、大学とも連携してウェルビーイングな健康推進で幸せに暮らせる活動をさらに進めていくことを願っています。
- ④ 中学校の部活動が地域移行になることを踏まえた事業策定が必要になると思う。福崎町体育協会加盟団体とどう連携していくのかなど課題が多いと感じる。
- ⑤ 住民の体力向上・健康増進・地域コミュニティーの育成に貢献されていると思います。長い目で見た時に必要なことも多いので、諸団体の活動と共に俯瞰的な見通しを持って検討されたい。
- ⑥ スケートボード場は、一部の熟練した人たちにとっては、とても使いやすい施設である。

その反面、初心者、特にこれから始めようとする人が使いにくい状況になっているように感じる。

- ⑦ スケートボード場は町村レベルでは素晴らしい施設だと評判であるが、利用登録申請場所が体育館であるため利便性が悪いと聞いている。何か良い方法がないものか。
- ⑧ 学校施設が地域社会に開放されることは、スポーツ振興に貢献することはもちろんであるが、結果的に学校教育への関心と協力意識を高めることにもつながるので、各種団体の利用がこのように浸透していることは好ましいことである。
- ⑨ 今は違うかもしれないが、以前、子ども会で体育館を利用しようとしたら、定期的に実施しているスポーツ団体が優先で、定められた期日に抽選に行ったが、先にうまっており施設が利用できなかった。単発的に利用する人たちにとっても使いやすいことを望む。
- ⑩ 令和３年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となった大会も多いが、新たな気づきもあると思われるので、そこからのリフレクションで、今後より効果的な事業運営が企画されることを期待する。
- ⑪ コロナ禍で中止となった各種大会が、安心・安全に少しでも実施できるようになることを望む。
- ⑫ 各種様々な大会等がコロナ禍で中止されたのが残念であるが、小学生対象の生活塾シリーズの代替えとして実施されたハーフデー生活塾等は、小学生が本当に生き生きとしていて学校では味わえない楽しんでいる様子が感じ取られた。

令和４年１２月

福崎町教育委員会事務事業評価委員（敬称略）

神戸医療未来大学教授 野 本 玲 子

兵庫県立福崎高等学校校長 齋 藤 勝

住民代表 小 田 茂 代

V 參考資料

<基本方針>

「志」の種を育てる 福崎の教育

～ すべての子どもの 心に「灯」をともす 学校教育

町民みんなの 学びたいことが学べる 社会教育 ～

<努力目標>

1 就学前保育・教育

- 1) 豊かな情操と思いやりの感性を育てる「環境づくり」を行う。
- 2) 「話を集中して聞く」など基本的な学習習慣と社会性の基礎づくりに努める。
- 3) 町内 3 カ所の子育て支援施設が連携し、子育てに関する情報提供、相談業務等、子育て支援の機能をさらに充実する。
- 4) 「福崎町第 2 期子ども・子育て支援事業計画」による取組を推進する。

2 学校教育の充実

- 1) 「いのち」の教育
 - ① すべての命のかけがえのなさや畏敬の念を実感する人づくりに努める。
 - ② 危機管理意識を高め、防災教育・学校防災体制を充実する。
- 2) こころ豊かな人間性と自立する人づくり
 - ① 人格の完成をめざし、個性を尊重した取組に努める。
 - ② 日々の地道な実践の積み重ねを重視する。
 - ③ 学びを支える教育環境（GIGA スクール構想、校舎長寿命化改修、トイレの洋式化等）を充実し、「生きる力」を育む環境づくりに努める。
- 3) 学力保障、進路保障
 - ① 「わかる授業」に努める。
 - ア) 学習規範を定着する。
 - イ) 学力向上委員会をさらに機能させ、「福咲学力アップタイム」を充実する。
 - ウ) 朝読書や「フクちゃん読書の日」（毎月 29 日）、「サキちゃん読書の日」（3 月 9 日）等を各校の実態に応じて工夫し、読書意欲と読書習慣を強化する。
 - エ) 「人生 100 年」に通じる生涯学習の基盤づくりを行う。
 - ② 「ふるさと 福崎」「我が母校」を愛する児童生徒を育む。
 - ③ ICT 教育、英語教育（活動）、道徳教育をさらに充実する。
 - ④ 夢や希望を大切にしたい気持ちと意欲を醸成する。
- 4) 特別支援教育
 - ① 一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援体制の構築及び合理的配慮の提供に努める。

- ② インクルーシブ教育を推進し、通常の学級に在籍する発達障害およびその傾向にある児童生徒等の校内指導体制を確立する。
 - ③ 保護者の「思い」を大切にし、町内統一のサポートファイルを効果的に活用する。
 - ④ 効果的に通級指導を活用するため、教職員や保護者と共通理解をする。
 - ⑤ 特別支援教育コーディネーターを中心に、校内研修や関係機関との連携に努める。
- 5) 人間的なふれあいによる生徒指導
- ① 学級や学校で疎外されがちな子やくらしに課題がある児童生徒を中心にすえ、ひとりの「いたみ」や「つらさ」をみんなで共有・共感し、ともに明るい展望が持てる仲間づくりに努める。
 - ② 児童生徒の生育歴や家庭環境に配慮した、生徒理解をする。同時に、児童生徒の多面性に留意した生徒指導を行う。
 - ③ いじめ・不登校に対して、多くの仲間や関係機関との連携により課題解決に取り組む。
 - ア) 教育相談体制をさらに機能させる。
 - イ) いじめに対して、各校の実態に応じ、早期の認知と早期の対応を継続する。
 - ウ) 不登校・不登校傾向の児童生徒に対して保護者や関係機関との連携を密にしながら、早期対応により児童生徒の社会的自立と自己実現に努める。
 - エ) 児童生徒及び保護者の悩みと受け止められる相談体制を構築する。
 - ④ 様々な教育課題に対して、全教職員で共通理解し、組織的に指導する。
- 6) 体験活動
- ① 充実感・達成感及び所属感や自己有用感を高める体験活動に努める。
 - ② 感動・感激、実感・体感を与える活動になるよう工夫する。
- 7) 人権教育
- ① 児童生徒、校区、地域、町の実態に即し、現実に学ぶ人権教育を行う。
 - ② 同和問題をはじめ、女性、子ども、高齢者、障害者、外国人、性的少数者など人権にかかわる今日的な課題の解決に努める。
 - ③ 児童虐待の早期発見・早期対応に努める。
 - ④ 情報モラル・セキュリティー意識の醸成に努め、情報活用能力をさらに育成する。
 - ⑤ ふだんの学校生活で、人権意識が尊重されている人権文化の確立に努める。
 - ⑥ 生活面・学習面で支援を要する児童生徒への支援に努める。
 - ⑦ 生命の尊厳を基盤に、教育の主体性、中立性を堅持する。
- 8) 食教育
- ① 生涯を通じた健全な食生活の基礎づくりとして、健康への関心、食文化の継承を図るなど、自らの食について考える習慣、食に関する知識、食を選択する判断力を育成する。
 - ② 「地産地消」、「不時不食」（旬の食材）、「もちむぎ」などの地元産の食材利用に努める。
 - ③ 民間委託による給食調理、配送のさらなる充実を図るとともに、引き続き学校栄養教諭による食指導の充実と安全・安心な学校給食の提供に努める。
 - ④ 異物混入をなくすため、関係機関と連携して、さらに厳しい指導を継続する。
 - ⑤ 給食の残飯量を減らす取り組みを進める。

9) 放課後児童クラブ（学童保育園、放課後子ども教室）

- ① 学童保育園の活動内容を充実する。
- ② 活動環境の整備・改善に努める。
- ③ 指導員の資質向上を推進する。

10) 業務改善

- ① 「教育職員の業務の量の適切な管理に関する規則」（町教育委員会規則 令和2年4月施行）および兵庫県「教職員の勤務時間適正化プラン」（平成29年4月策定）に基づき推進する。
- ② 校務支援ソフト（平成29年度に導入）等を活用し、校務の効率化に努める。
- ③ 学校園のトラブル発生時、教育委員会は積極的に指導にあたる。
- ④ 主幹教諭等のミドルリーダーの育成に努める。
- ⑤ 学校事務機能強化のため「共同学校事務」の効果的運用を検討する。
- ⑥ 教職員の「変形労働時間制」の効果的運用を検討する。

3 家庭の教育力

1) 家庭教育学級を推進する。（認定こども園・小学校・中学校）

- ① 子育てについての保護者の抱える「願い」や今日的に学ぶ必要のある課題に対応した研修会及び講演会の内容を工夫し、保護者の教育力の向上と子育て支援に努める。
- ② 家庭へ積極的に情報を提供し、学校と子育て情報や課題を共有し連携して取り組む。

2) 家庭教育の重要性について、継続して啓発する。

3) PTA 活動を活性化するための工夫に努める。

4 地域の教育力

1) すべての地域住民が子どもたちの健全育成にかかわる取組を推進する。

- ① 研修会、講演会等により地域住民の青少年健全育成意識や協力体制を醸成する。
- ② 啓発リーフレットや広報車等を活用した啓発活動により、「地域の子どもは地域で育てる」環境づくりを継続する。

2) 地域住民の幅広い参画を推進する。

- ① 青少年補導委員会やPTCA活動を連携・支援する。
- ② 地域教育推進委員会（県民交流広場）の活動を支援し、各委員会相互の連携を図る。

3) 学校支援地域本部事業を推進する。

- ① 地域の人材を発掘し、地域の教育力を「学校教育」に活かす取組を進める。
- ② 学校支援者が自らの「生き方」につながる活動を創造する。

5 社会教育・生涯学習

1) 郷土への愛着と誇りをもつ子どもの育成

- ① 二人の名誉町民（柳田國男先生・吉識雅夫先生）の顕彰に継続して取り組む。
- ② 地域の歴史や文化をテーマに、優れた研究を行った児童生徒に対し、「柳田國男ふるさと賞」を贈るとともに、氏の功績や郷土の歴史を再認識する取組を進める。

- ③ 柳田國男先生ゆかりの岩手県遠野市との友好都市交流事業を継続する。(児童交流とともに「遠野物語」の原風景にふれたり東日本大震災の後方支援等の学習内容を他の児童生徒へも活かす)
- ④ 子どもたちの自然科学に対する興味、関心、意欲を高めるために、自然科学・理数分野で優れた研究、観察、製作を行った児童生徒に対し、「吉識雅夫科学賞」を贈る。また、広く町民に向けても氏の業績を発信するよう努める。

2) 文化・芸術活動（図書館、エルデホール）

- ① 図書館では、住民の自主的な学習拠点として、蔵書を充実させ、快適で安全な利用しやすい図書館運営に努める。
- ② 「福崎町子どもの読書活動推進計画」に基づき事業を展開する。
- ③ 町内小中学生に配布している「読書ノート」を効果的に活用し、読書への関心を高め、読書する環境づくりに努める。また、図書館来館のきっかけづくりを工夫する。
- ④ 図書館応援隊を支援し、特色ある図書館活動に努める。
- ⑤ 図書館に設置した「自習スペース」を効果的に活用する。
- ⑥ 図書館の町内在住者の利用を増やすため、大人向けイベントを工夫する。
- ⑦ 蔵書構成の見直しやギャラリーの有効活用による図書館利用を推進する。
- ⑧ エルデホールの自主事業は、地域住民の要望に添ったもの、若者をターゲットにしたものの等のテーマに分けて実施する。「友の会」制度の啓発に努め、より多くの方に自主事業に来場していただくよう情報発信に努める。また、住民が自ら企画運営できる住民企画事業の実施や住民が参加できるような企画づくりを工夫する。

3) 地域の歴史文化遺産の掘り起こし・保存・活用

- ① 地域の文化財及びその周囲を含め総合的に把握し活用するため、福崎町文化財保存活用地域計画を令和3年度から令和4年度の2カ年で作成する。今後も継続して、福崎町文化財保存活用地域計画協議会を開催し計画内容を検討する。
- ② 歴史民俗資料館は、郷土の歴史・文化に関する資料収集・保存・展示に工夫を加え、より深く継続的に活動できるよう、柳田國男・松岡家記念館と連携し、一体の運営に努める。
- ③ 柳田國男・松岡家記念館では、松岡五兄弟の顕彰に努める。
- ④ 神戸大学大学院人文学研究科地域連携センターと共同研究を引き続き実施し、地域の歴史遺産の掘り起こしに努める。

4) 柳田國男・松岡家記念館、歴史民俗資料館

- ① 文化ゾーンとしての軸として、文化財の保護・活用を推進する。
- ② 8回目を迎える「柳田國男検定」は、初級・中級・上級試験を工夫して継続する。
- ③ 第42回山桃忌は、8月1日（日）と8月7日（土）の両日午後で開催する。
- ④ 多くの人が、「民俗学」を身近なものとして捉えられるよう工夫する。
- ⑤ 大庄屋三木家住宅では資料整理・展示公開等を継続的に実施する。
- ⑥ 三木家資料收藏のための收藏施設兼展示場の効果的な運用と活用を工夫する。
- ⑦ 柳田國男・松岡家記念館、歴史民俗資料館、大庄屋三木家住宅が住民に愛され親しみのある施設となるよう取り組む。

⑧ 住民の埋蔵文化財への関心を醸成する。

5) スポーツ・レクリエーション活動

① 社会体育、野外活動などの環境づくりを推進する。

② スポーツ指導体制の確立、普及活動の充実、既存団体の発展に努める。

③ 総合型地域スポーツクラブをサポートする。

④ 町民の体力向上に取り組む。

⑤ 野外活動センターの周知と利用を促す広報に努める。

6) 公民館活動

① 参加しやすく魅力ある活動にする運営に努める。

② 学習や活動を通じて、人と人との交流を深め、生きがいを高める。

③ 学習成果を地域にいかす取組を工夫する。

④ 多様な学習機会を提供し、各種講座、教室等の内容のさらなる充実に努める。

⑤ 若年世代の参加を図るため工夫する。

⑥ すべての人の学習機会の充実に努める。

⑦ 老人大学のさらなる充実に努める。

7) 人権に関する学習機会

① 一人ひとりの人権が尊重され、心と心が豊かにつながる地域づくりに努める。

② 自治会研修会の工夫と活性化に努める。

③ 男女共同参画基本計画に基づき、個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現に努める。

6 開かれた教育委員会

1) 「総合教育会議」等で町長部局との連携を強め、よりよい教育行政に努める。

2) 所管施設の現状と利用者の要望を認識するために、定期的・臨時的に所属長との面談や現場視察に努める。

3) 教育委員の研鑽に努める。

4) 「事務事業点検評価」を引き続き実施・公表し、住民から広く意見を求める。

5) 教育委員会制度を、より発展的・効果的な制度になるよう努める。

6) 福崎町のために、すべての子ども・職員・教職員が元気に活動できるよう工夫する。

福崎町教育委員会事務事業評価委員設置要綱

(目的)

第1条 福崎町教育委員会は、効果的な教育行政の推進を図ると共に、住民への説明責任を果たしていくため、教育委員会が事務の管理・執行状況について点検・評価を行い、その結果の報告書を議会に提出し、公表するものとする。なお、点検・評価を行う際、学識経験者の知見の活用を図るため、福崎町教育委員会事務事業評価委員（以下「評価委員」という。）を置く。

(役割)

第2条 評価委員は、教育長の求めに応じ、教育委員会事務事業について意見を述べるものとする。

(定数)

第3条 評価委員の数は、3名程度とする。

(任期)

第4条 評価委員の任期は、1年とする。初年度は委嘱の日からその年度末までとする。なお、再任は妨げない。

2 評価委員に欠員が生じたときは、補充することができる。

3 評価委員は、特別の事情があるときは、その任期の途中で評価委員の委嘱を解くことができる。

(委嘱)

第5条 教育委員会は、委嘱状を交付する。

(教育委員会事務事業評価委員会)

第6条 教育長は、評価委員が意見交換するための教育委員会事務事業評価委員会（以下「委員会」という。）を設けることができる。

2 委員会は、教育長が招集する。

3 委員会は、関係職員等の出席を求めることができる。

(守秘義務)

第7条 評価委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また同様とする。

(その他)

第8条 この要綱に定めるものの他、必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成21年7月10日から施行する。